

たばこ使用者を対象としたたばこ対策のインパクト調査

研究協力者 萩本 明子 同志社女子大学看護学部 准教授

研究要旨

本研究の目的は、加熱式たばこを含むたばこ使用者の健康影響に関する知識、たばこ規制に対する意識や規制から受けているインパクト、加熱式たばこを含むたばこ製品の使用実態、医療機関や健診受診時の医療従事者からの禁煙推奨の実態を経年変化を含めて把握し、今後、日本が取り組むべきたばこ規制の課題を検討することである。

全国のたばこ使用者を対象としたインターネット調査を2014年、2018年度に実施した。また、経年変化の比較のため、2010年度調査として、2005年より6年間実施したモニタリング調査結果の一部を用いた。調査項目は、基本的属性、たばこの使用実態、たばこに関する知識・信念、受動喫煙防止、たばこ価格政策、たばこの警告表示、禁煙の実態、医師からの禁煙推奨とし、2018年度調査を中心に2014年度調査、2010年度調査と比較した。

2014年度調査から4年が経過したが、たばこの健康影響に関する認識やたばこ規制の取り組みから受けているインパクトは数%の改善で留まり、未だ、たばこ規制が進んでいる国々の喫煙者と比べて低い割合を示しており、日本におけるたばこ規制の取り組みが遅れていることが浮き彫りとなった。昨今急速に普及している加熱式たばこの使用者は、紙巻きたばこ使用者に比較し、たばこの健康影響に関する認識が高く、検討した3つのたばこ規制の取り組みから受けているインパクトが高い傾向がみられたが、警告表示による禁煙の可能性や居酒屋・バーの全面禁煙への賛同については低かった。禁煙支援・治療については、禁煙試行率は8年間で約5%の増加にとどまり、選択された禁煙方法は、禁煙成功率の高い禁煙治療は未だ少なく、加熱式たばこや電子たばこを選択するたばこ使用者が増加しており、より一層の禁煙治療の衆知と普及を目指す必要がある。

A. 研究目的

2014年度に実施した、ITCプロジェクトにおける諸外国の調査結果と比較検討できる日本初の調査研究から4年が経過した。この間の喫煙率や受動喫煙防止の改善に実効性のある国レベルの政策は、2018年7月の受動喫煙対策を強化する改正健康増進法¹⁾の成立、2018年10月のたばこ税の増税²⁾があげられる。また、加熱式たばこは、2014年から一部地域で販売が開始、2016年頃から全国で販売され、急速に普及してきている。そこで、本研究の目的は、加熱式たばこを含むたばこ使用者の健康影響に関する知識、たばこ規制（受動喫煙防止、たばこ価格政策、たばこの警告表示）に対する意識や規制から受けているインパクト、加熱式たばこを含むたばこ製品の使用実態、医療機

関や健診受診時の医療従事者からの禁煙推奨の実態を経年変化を含めて把握し、今後、日本が取り組むべきたばこ規制の課題を検討することである。

B. 研究方法

1. 対象者の設定

たばこ使用者を対象としたインターネットでのアンケート調査を2014年11月³⁾、2018年11月に株式会社インテージ社（以下、インテージ社とする）を通して実施した。

最終調査対象者を各年2000名と規定し、性・年齢階級別の調査対象者数を2014年度調査では、平成25年国民生活基礎調査の喫煙率⁴⁾、2018年度調査は、平成28年国民生活基礎調査の喫煙率⁵⁾に基づいて構成した。

たばこ使用者の選定方法は、2014年度調査では、①インテージ社が保有する調査モニターの登録情報をまず使用し、「たばこを吸う(たばこ使用者)」と登録している者を選定した。たばこに関する登録情報は「あなたはたばこを吸いますか」の質問に「吸う」「吸わない」「20歳未満のため該当しない」の三者択一で「吸う」と回答した結果に基づいた。次に、②①で選定されたたばこ使用者に現在のたばこ使用状況を確認するため予備調査配信を行い、「毎日吸っている」「時々吸う日がある」「以前は吸っていたが、1ヵ月以上吸っていない」「吸わない」の四者択一から「毎日吸っている」「時々吸う日がある」と回答した者を選定した。予備調査は、性・年齢階級別に必要数を満たすことができる対象者数が確保できた時点(2705人)で打ち切り、これら全員に本調査を依頼した。本調査においても性・年齢階級別の各対象者数を満たした時点で終了とした。調査期間は、2014年度の予備調査が2014年10月30日～11月4日、本調査が同年11月5日～11月7日であった。2018年度調査では、インテージ社にてたばこ使用に関する属性を保有していなかったため、アンケートの1問目にたばこ使用の有無を「あなたは『たばこ(紙巻きたばこ、加熱式たばこ、電子たばこなど)を吸いますか」と質問し、「毎日吸っている」「時々吸う日がある」「以前は吸っていたが、1ヵ月以上吸っていない」「吸わない」の四者択一から「毎日吸っている」「時々吸う日がある」と回答した者を2問目以降の質問に移行する形で選定し、性・年齢階級別の各対象者数を満たした時点(2148人)で終了とした。2018年度は2018年11月9日～11月12日に調査を行った。

最初に規定した2000名の対象数となるよう、性・年齢階級別に余剰の回答者を除外した。2014年度の除外方法は、1ページあたりの回答時間が全回答者の中央値から大幅に外れる者を除外した上で、残った回答者から余剰人数分をランダムに除外した。2018年度の調査では、余剰人数分をランダムに除外した。

なお、本研究における「たばこ使用者」とは、

紙巻きたばこを現在、毎日または時々(継続的に)吸っている者が「喫煙者」と呼称されることに対して、紙巻きたばこのみならず、加熱式たばこや電子たばこ、パイプや噛みたばこ等のたばこ製品を使用している者を対象者と定義していることから、喫煙者とは区別して「たばこ使用者」とした。また、株式会社インテージ社の調査モニターは、同社が独自に募集したモニターと提携会社のモニターから構成されており、2014年度調査時は合計513万人(同社モニターが120万人、提携会社モニター393万人)、2018年度調査時には、合計919万(同社モニター数と提携会社モニター数は非公開)であった。

2. アンケート調査項目

1) 2014年度調査

質問項目は、基本属性では性別、年齢、居住地、世帯人員数、学歴、配偶者の有無、職業、世帯収入、医療保険の種類、主観的健康観とした。たばこ使用の実態については、たばこ製品の種類、喫煙本数、ニコチン依存度、喫煙開始年齢、喫煙ステージ(禁煙の準備性)、吸っている紙巻きたばこの値段とした。たばこに関する知識・信念、受動喫煙防止、たばこ価格政策、たばこの警告表示についての質問項目は、ITCプロジェクトの調査項目⁶⁾から構成した。質問数は合計52問である。選択肢は、知識・信念に関しては「はい」「いいえ」「わからない」の三者択一とし、受動喫煙防止では「該当しない」を加えた四者択一とした。たばこ価格政策では頻度を問う選択肢を設け、たばこの警告表示では頻度や程度を選択肢を設けた(資料1参照)。

2) 2018年度調査

質問項目は、基本属性では性別、年齢、居住地、学歴、配偶者の有無、職業、世帯収入、医療保険の種類である。たばこ使用の実態については、たばこ製品の種類、喫煙本数(紙巻きたばこ、加熱式たばこ、電子たばこそれぞれ)、ニコチン依存度、喫煙開始年齢、喫煙ステージ(禁煙の準備性、す

すべてのたばこ、紙巻きたばこ、加熱式たばこそれぞれ)とした。電子たばこについては、吸って吐いてを繰り返す10分程度のひとまとまりの行為を1回とみなした回数で回答することとした。たばこに関する知識・信念、受動喫煙防止、たばこ価格政策、たばこの警告表示についての質問項目は2014年度調査と同様の項目である。禁煙の実態については、禁煙試行、禁煙期間、禁煙方法とし、医療機関や健診受診と医療従事者の禁煙推奨として、受診の有無と医療従事者からのアドバイスの有無および、アドバイスの内容とした。さらに、加熱式たばこの知識や信念についても質問した。質問数は合計61項目である。選択肢は2014年度調査と同様であり、加熱式たばこの知識や信念では程度の選択肢を設けた(資料2参照)。

3. 喫煙者のモニタリング調査

2005年度より6年間実施したモニタリング調査結果⁷⁾から、2010年度の調査結果および、参考値として2009-10年コホート結果を用いた。この調査は、調査会社のアクセスパネルを使用し、2005年度に設定した喫煙者の固定集団1,666名を対象とし、郵送による自記式アンケートを用いて追跡調査を毎年6月に実施した。2006年度有効回答者(1,387名)にアンケートを送付し、2009年度は1099名(79.2%)、2010年度は1,107名(79.8%)の有効回答を得た。その内、調査時のたばこ使用者2009年度830名、2010年度816名、2009年度たばこ使用者の1年間の追跡者コホート(2009-10年コホート)は767名であった。

今回使用した質問項目は、基本属性として、性別、年齢とした。たばこ使用の実態については、たばこ製品の種類、喫煙本数、ニコチン依存度、喫煙ステージ(禁煙の準備性)とし、医療機関や健診受診と医療従事者の禁煙推奨として、受診の有無と医療従事者からのアドバイスの有無および、アドバイスの内容とした。

4. 解析方法

たばこ使用者の属性とたばこ使用の実態につい

ては、2018年度と2014年度調査、2018年度調査と2010年度調査を比較した。たばこの健康影響に関する認識およびたばこ規制に対する意識や規制から受けているインパクトについては、2018年度と2014年度調査を比較し、さらに、2018年度調査において、使用しているたばこの種類を3つ定義し、紙巻きたばこ単独、紙巻きたばこ加熱式たばこ併用、加熱式たばこ単独対象間でも比較した。いずれの定義も、紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した。医療機関と医師の禁煙推奨については、2010年度と2018年度調査を比較し、参考値として2009-10年コホートも示した。2009-10年コホートを示したのは、今回の調査はたばこ使用者を対象としており、過去1年間の禁煙試行の有無や医療機関受診および医師からのアドバイス、禁煙方法などの質問項目の回答には、禁煙に成功しているものが含まれない結果となるためである。2009-10年コホートは2009年度調査時のたばこ使用者に対して1年後の動向を調査しており、禁煙成功者も含まれる結果である。

統計解析として、名義尺度には χ^2 検定、数量尺度は対応のない分散分析、順序尺度の2群比較ではマンホイットニーのU検定、3群比較ではクラスカル・ウォリス検定を用いた。解析ソフトとして、IBM SPSS Statistics Version 23.0 for Windowsを用いた。

(倫理面への配慮)

調査対象であるたばこ使用者は、株式会社インテージ社が保有している調査モニターとして登録している者であり、調査は本人の同意を得て実施した。同社から提供されるデータには、氏名やモニター登録番号等の個人を特定する情報はないため、研究者は回答者を特定することができない。また、参考調査データについても、アクセスパネルに登録した喫煙者に対する調査のデータを用いており、調査委託機関から個人を同定できない匿名化されたデータを得ている。

本研究では、2014年度調査は、大阪がん循環器

病予防センター倫理委員会の承認を得（承認年月日：2014年10月2日、承認番号：26 - 倫理 - 2）、2018年度調査では、公益社団法人地域医療振興協会倫理審査委員会の承認を得た（承認年月日：2018年11月8日、承認番号：20181108-1）。

C. 研究結果

1. 調査回答者の特性とたばこ使用の実態（表1）

1) 経年変化

対象者の男性の割合は、2018年度75.5%、2014年度74.8%、2010年度52.2%、(2018年度vs2014年度 $p=0.608$ 、2018年度vs2010年度 $p<0.001$)、平均年齢は、それぞれ47.6歳、46.7歳、48.0歳 ($p<0.05$ 、 $p=0.491$) であった。

たばこ使用の実態は、紙巻きたばこは、2018年度82.5%、2014年度98.1%、2010年度99.5%と有意に減少し（2018年度vs2014年度 $p<0.001$ 、2018年度vs2010年度 $p<0.001$ ）、電子たばこはそれぞれ、11.4%、3.3%、2.7% ($p<0.001$ 、 $p<0.001$) と有意に増加していた。加熱式たばこの使用は、2018年度のみ調査を行ったが、36.5%の使用率であった。1日の平均喫煙本数は、紙巻きたばこはそれぞれ、13.5本、15.4本、17.2本 ($p<0.001$ 、 $p<0.001$) と有意に減少していた。加熱式たばこ、電子たばこの平均喫煙本数は、2018年度のみ調査し、それぞれ7.9本またはカプセル、6.5回であった。喫煙ステージ（禁煙の準備性）は、2018年度では、無関心期30.7%、関心期I46.7%、関心期II16.4%、準備期6.3%、2014年度はそれぞれ、27.6%、49.9%、16.2%、6.3%であり、2010年度は22.2%、49.1%、22.8%、5.3%であった ($p=0.143$ 、 $p<0.001$)。

2) たばこの種類別の実態

2018年度調査におけるたばこの種類別（紙巻きたばこ単独、紙巻き・加熱式併用、加熱式たばこ単独）で比較すると、対象者数は、紙巻きたばこ単独1107名（55.4%）、紙巻き・加熱式併用365名（18.3%）、加熱式たばこ単独255名（12.8%）であった。平均年齢はそれぞれ、50.7歳、45.2歳、

43.1歳 ($p<0.001$) であり、平均喫煙本数は、紙巻きたばこ単独は14.2本、加熱式たばこ単独は12.8本またはカプセル、紙巻き・加熱式併用の紙巻きたばこは11.6本（紙巻きたばこ単独と比較して $p<0.001$ ）、加熱式たばこは4.9本またはカプセル（加熱式たばこ単独と比較して $p<0.001$ ）、であった。喫煙ステージは、紙巻きたばこ単独の無関心期33.7%、関心期I43.0%、関心期II16.0%、準備期7.3%、紙巻き・加熱式併用はそれぞれ、26.8%、51.2%、18.1%、3.8%、加熱式たばこ単独は、27.5%、52.2%、16.5%、3.9%であった ($p<0.01$)。

2. たばこの健康影響に関する認識、たばこ規制に対する意識や規制から受けているインパクト

1) 経年変化（表2）

(1) たばこの健康影響に関する知識

たばこの健康影響に関する認識において、受動喫煙と心筋梗塞に関係があるとしたたばこ使用者は、2018年度47.9%、2014年度42.7% ($p<0.01$) と有意に増加したが、能動喫煙と脳卒中や受動喫煙と肺がんでは有意な差は認められなかった。

(2) 受動喫煙防止規制の遵守状態の認識

過去1ヵ月以内に職場で、もしくは過去6ヵ月以内にレストラン・喫茶店、居酒屋・バーでたばこを吸っている人がいたと回答したたばこ使用者は、2018年度はそれぞれ、54.4%、58.9%、79.3%、2014年度は53.9% ($p=0.962$)、66.4% ($p<0.001$)、82.9% ($p<0.05$) であり、レストラン・喫茶店、居酒屋・バーでは有意に減少していた。

(3) 受動喫煙防止規制への支持

職場の屋内スペース、レストラン・喫茶店、居酒屋・バーを全面禁煙にすべきであることに賛成したたばこ使用者は、2018年度はそれぞれ、11.1%、12.9%、7.1%、2014年度は13.8% ($p<0.001$)、9.8% ($p<0.05$)、6.4% ($p=0.168$) であり、職場は有意に減少、レストラン・喫茶店は有意に増加していた。

(4) たばこ価格政策によるたばこ使用者へのインパクト

たばこに費やすお金が原因で生活費が圧迫されたことがあったと回答したたばこ使用者は、2018年度16.4%、2014年度10.7% ($p < 0.001$)であった。過去1ヵ月以内にたばこに費やすお金のことを考えたことが「頻繁」もしくは「とても頻繁にあった」と回答したのはそれぞれ、16.7%、13.0% ($p < 0.001$)、過去6ヵ月以内にたばこ代を理由に禁煙することを考えたことが「とてもよくあった」「ある程度あった」と回答したのは60.5%、52.4% ($p < 0.001$)とすべて有意に増加傾向にあった。過去6ヵ月以内にたばこ代を理由に禁煙することを考えたかについては、男女別に検討したが、女性のほうがやや高い割合を示したが、経年変化は同様の結果であった。

(5) たばこの警告表示によるたばこ使用者へのインパクト

過去1ヵ月間にたばこの包装に書かれている警告表示に「頻繁に」もしくは「とても頻繁に」気づいたと回答したたばこ使用者は、2018年度23.4%、2014年度26.2% ($p < 0.01$)であった。たばこ包装の警告表示をきっかけに健康への害を考えると「大いにある」と回答したのはそれぞれ、5.3%、3.2% ($p = 0.088$)、たばこ包装の警告表示によって禁煙する可能性が高まること「大いにある」と回答したのは3.8%、2.5% ($p < 0.05$)であり、警告表示に気付いた割合は有意に減少したが、禁煙の可能性は有意に増加する結果となった。

2) たばこの種類別の実態 (表3)

(1) たばこの健康影響に関する知識

たばこの健康影響に関する認識において、能動喫煙と脳卒中、受動喫煙と心筋梗塞、受動喫煙と肺がんともに関係があると回答したのは、紙巻きたばこ単独はそれぞれ、46.2% ($p < 0.001$)、41.4% ($p < 0.001$)、47.6% ($p < 0.001$)と半数未満であり、紙巻き・加熱式併用 (それぞれ 58.6%、55.1%、

60.0%)、加熱式たばこ単独 (55.3%、54.1%、57.3%) に比べて有意に低かった。

(2) 受動喫煙防止規制の遵守状態の認識

過去6ヵ月以内にレストラン・喫茶店でたばこを吸っている人がいたかでは、紙巻き・加熱式併用67.8%、加熱式たばこ単独61.9%、紙巻きたばこ単独53.5% ($p < 0.001$)と、紙巻きたばこ単独が有意に最も低い割合を示した。その他項目では有意な違いはなかった。

(3) 受動喫煙防止規制への支持

職場を全面禁煙にすべきであることに賛成した割合に有意な違いはなかった。レストラン・喫茶店は、紙巻きたばこ単独11.7%、紙巻き・加熱式併用12.9%、加熱式たばこ単独14.1% ($p < 0.05$)と加熱式たばこ単独が有意に最も高い割合を示した。居酒屋・バーでは、それぞれ5.9%、9.6%、5.5% ($p < 0.01$)と紙巻き・加熱式併用が高い割合を示した。

(4) たばこ価格政策によるたばこ使用者へのインパクト

たばこに費やすお金が原因で生活費が圧迫されたことがあったと回答したたばこ使用者は、紙巻きたばこ単独13.6%、紙巻き・加熱式併用17.8%、加熱式たばこ単独17.3% ($p < 0.05$)と紙巻きたばこ単独が有意に最も低い割合を示した。その他の項目では有意な違いは見られなかった。

(5) たばこの警告表示によるたばこ使用者へのインパクト

過去1ヵ月間にたばこの包装に書かれている警告表示に「頻繁に」もしくは「とても頻繁に」気づいたと回答したたばこ使用者は、紙巻きたばこ単独22.6%、加熱式たばこ単独23.5%より、紙巻き・加熱式併用25.5%が有意に最も高かった ($p < 0.05$)。たばこ包装の警告表示をきっかけに健康への害を考えると「大いにある」と回答したのは紙巻きたばこ単独4.6%、紙巻き・加熱式

併用 5.8%より、加熱式たばこ単独 2.7%が有意に低く ($p<0.05$)、たばこ包装の警告表示によって禁煙する可能性が高まること「大いにある」と回答したのも同様に、それぞれ 3.7%、3.0%、1.6% ($p<0.01$) と加熱式たばこ単独が有意に最も低かった。

3. 医師のアドバイスと禁煙行動の経年変化 (表 4)

1) 医師のアドバイス

過去 1 年間に医療機関を受診したたばこ使用者のうち、医師から禁煙のアドバイスを受けた割合は、2018 年度調査では 38.1%と 2010 年度調査 27.4%に比較し有意に高い割合を示した ($p<0.05$)。

2) 禁煙行動

過去 1 年間の禁煙試行割合は、2018 年度調査では 28.6%と 2010 年度調査 23.0%に比較し有意に高い割合を示した ($p<0.01$)。選択した禁煙方法では、2018 年度調査では禁煙治療 8.2%、OTC6.8%、加熱式・電子たばこ 9.8%、その他 75.2%であり、2010 年度調査と比較し(それぞれ、5.3%、11.2%、0%、81.9%) ($p<0.001$)、禁煙治療や加熱式・電子たばこの割合が高かった。

資料 3 に基礎表を示す。

D. 考察

本研究では、2014 年度に実施した、ITC プロジェクトにおける諸外国の調査結果と比較検討できる日本初の調査研究からの経年変化および、急速な加熱式たばこの普及を受け、使用しているたばこの種類によって、たばこの健康影響に関する認識やたばこ規制の取り組みから受けるインパクト (受動喫煙防止、たばこ価格政策、たばこの警告表示) に違いがあるかを調査した。その結果、2014 年度調査から多くの項目で数%改善したが、未だ、たばこ規制が進んでいる国々の喫煙者と比べて低い割合を示しており⁸⁻¹¹⁾、日本におけるたばこ規

制の取り組みが遅れていることが浮き彫りとなった。

2014 年度調査以降、受動喫煙防止に関する政策をみると、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、2018 年 7 月に受動喫煙対策を強化する改正健康増進法¹⁾が成立した。しかし、その内容は、飲食店において、「既存店」で「客席面積が 100 m²以下」かつ「個人経営か資本金 5,000 万円以下の中小企業の経営」は例外とするなど全面禁煙からは程遠い内容である。オリンピック開催地である東京都では、国の法律より厳しい東京都受動喫煙防止条例を制定¹²⁾しているが、従業員を雇っていない飲食店は禁煙か喫煙か選べる、飲食店には喫煙室の設置が認められるなど、屋内完全禁煙とは言えない現状である。上記法律は、成立過程でマスクなどに大きく取り上げられたことから、受動喫煙防止に関する情報は広くたばこ使用者にも周知されたと考えられる。しかし、法律や条例の施行が 2020 年 4 月であり、アンケート実施時には施行されていなかったこと、法律の内容が屋内完全禁煙とは言えない内容であることなどから、たばこの健康影響に関する認識やたばこ規制の取り組みから受けているインパクトが数%の向上にとどまったのではないかと考えられた。

受動喫煙防止規制の遵守状態の認識と規制への支持において、レストラン・喫茶店や、居酒屋では、2014 年度調査に比較し改善傾向にあったが、職場における遵守状況と認識には有意な変化は見られなかった。現在成立している法律や条例の中には、職場の受動喫煙防止規制は含まれておらず、そのことが影響したのではないかと考えられた。

たばこの価格政策に関しては、8 年ぶりの 2018 年 10 月にたばこ税が増税され、1 本あたり 1 円引き上げられている。今後も 2020、21 年に 1 円ずつ引き上げられる予定である。加熱式たばこについても 2018 年 10 月から 2022 年 10 月にかけて 5 回に分けて段階的に増税される予定である。本調査は、1 回目の値上げ直後の調査となっており、たばこ使用者へのインパクトにつながり、結果に

反映されたと推察できる。しかし、未だ日本は先進国と比べてたばこ価格が非常に安い国のままであり¹³⁾、たばこに費やすお金が原因で生活費が圧迫された割合や、たばこ価格を理由に禁煙を考える割合が低くとどまっている原因と考えられる。

たばこの警告表示に関しては、2014年度調査時から変更はなく、たばこ事業法施行規則第36条¹⁴⁾による8種類の警告文の中から2種類を主要な2面へ30%の面積に表示、画像を用いた警告メッセージはないままである。そのため、大きな変化にはつながらなかったと考えられる。今後、諸外国の状況を踏まえた警告表示の強化が必要である。

喫煙者の過去1年の禁煙試行率を見ると、2010年度の喫煙者コホート調査と比較し、有意に5.6%増加していた。しかし、喫煙率の年次推移では、2010年のたばこ増税によるたばこ価格の値上げ後、喫煙率は男性6.0%、女性2.5%減と顕著にみられ、その後増減を繰り返しており^{15,16)}、2017年までに男性2.8%、女性1.2%減少しているのみである。以上から、禁煙試行率に関しても同様の傾向にあると考えられ、従来通りのたばこ規制の取り組みでは喫煙率を効果的に減少させられないと考えられる。

禁煙試行者の禁煙方法を見ると2010年度の喫煙者コホート調査と比較し、禁煙治療が約3%、加熱式たばこや電子たばこ使用が約10%増加していた。禁煙成功に効果的と考えられる禁煙治療を選択する割合は未だ低く、昨今急速に普及している加熱式たばこや電子たばこを選択するたばこ使用者が増えている状況である。上記結果は、対象者全員が現在喫煙者のため、禁煙試行したが再喫煙したたばこ使用者は含まれるが、禁煙に成功したたばこ使用者は含まれていない。そこで、参考値として、喫煙者コホートの2009年度調査時喫煙者の1年後のアンケート結果から禁煙成功者も含めた結果をみると、2010年度の結果より禁煙治療の選択率が高い結果が得られている。以上からも禁煙治療は禁煙のために有効な手段であり、より一層の禁煙治療の衆知と普及を目指す必要がある。さらに、受診時の医師のアドバイスも有意に

増加したとはいえ40%未満であり、より一層の対策が必要と考えられる。

2018年度調査では、昨今急速に普及している加熱式たばこ使用者を含めて調査を実施した。使用しているたばこの種類別に同様の項目を見ると、加熱式たばこ使用者は、紙巻きたばこの併用の有無に関わらず、紙巻きたばこ単独使用者に比較し、たばこの健康影響に関する認識が高かった。検討した3つのたばこ規制の取り組みから受けているインパクトについては、加熱式たばこ使用者、特に加熱式たばこ紙巻きたばこの併用者において、そのインパクトがやや高かった。一方、警告表示による禁煙の可能性については加熱式たばこ使用者において、単独使用、併用に関わらず、規制のインパクトがやや低かった。また、居酒屋・バーの全面禁煙への賛同については加熱式たばこ単独使用者でやや低かった。これらの結果の解釈にあたり、以下の点に留意が必要である。まず第一に、現在の加熱式たばこ使用者の多くが紙巻きたばこ使用経験者であり、喫煙ならびに受動喫煙の健康影響をより認識している喫煙者が加熱式たばこに切り替えたことが考えられる。本調査においても加熱式たばこ使用者の方がたばこの健康影響の認識が高く、加熱式たばこ使用者と紙巻きたばこ使用者の健康意識の違いが調査結果に影響している可能性が考えられる。次に、加熱式たばこ使用者において、警告表示による禁煙の可能性や居酒屋・バーの全面禁煙への賛同が低かったことの解釈として、有害物質が少ないと広告されている加熱式たばこの製品に切り替えたことの安心感や禁煙効果についての製品への過度な期待が調査結果に影響を及ぼした可能性を考慮する必要がある。

本研究の限界として、以下の点が考えられる。まず第1に、本研究はインターネット調査で行われており、インターネットにアクセスできるもののみが対象者となるため、対象者に偏りが生じることが考えられる。しかし、オランダでのITCプロジェクト調査において、インターネット調査と電話調査を行った研究によると、調査方法によって結果に差はなかったことが報告されている¹⁷⁾。

したがって、本研究の調査方法が結果に重大な影響をもたらしたとは考えにくい。第2に、過去1年間の禁煙行動についても調査を行ったが、今回の対象者はすべてたばこ使用者であり、禁煙に成功したたばこ使用者は除外される形となっている。また、2014年度調査では調査しなかったことから、2005年度より6年間実施したモニタリング調査結果⁷⁾から、2010年度の調査結果、参考値として禁煙成功者を含めた2009-10年コホート結果を用いた。この調査は、男女ほぼ同数であるなど、対象者の分布が異なっているデータである。以上により、結果を過少、過大評価している可能性は否定できない。第3に、各調査項目の「わからない」「該当しない」を選択した者の取り扱いである。本研究の分析結果は不明者等を含めた値であるが、項目によっては最大15%程度のたばこ使用者が該当しており、今後、検討が必要である。

E. 結論

2014年度に実施した、ITCプロジェクトにおける諸外国の調査結果と比較検討できる日本初の調査研究から4年が経過したが、たばこの健康影響に関する認識やたばこ規制の取り組みから受けるインパクトは、数%の改善にとどまり、未だ、たばこ規制が進んでいる国々の喫煙者と比べて低い割合を示しており、日本におけるたばこ規制の取り組みが遅れていることが浮き彫りとなった。昨今急速に普及している加熱式たばこ使用者は、紙巻きたばこ使用者に比較し、たばこの健康影響に関する認識が高く、検討した3つのたばこ規制の取り組みから受けているインパクトが高い傾向がみられたが、警告表示による禁煙の可能性や居酒屋・バーの全面禁煙への賛同については低かった。禁煙支援・治療については、禁煙試行率は8年間で約5%の増加にとどまり、選択された禁煙方法は、禁煙成功率の高い禁煙治療は未だ少なく、禁煙方法として加熱式たばこや電子たばこを選択するたばこ使用者が増加しており、禁煙治療の周知をより一層図る必要がある。

引用文献

- 1) 厚生労働省.健康増進法の一部を改正する法律 (<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000482519.pdf>, 2019年4月19日アクセス).
- 2) 財務省.たばこ税法の改正 (https://www.mof.go.jp/tax_policy/tax_reform/outline/fy2018/explanation/pdf/p0985-1002.pdf, 2019年4月19日アクセス).
- 3) 仲下祐美子他. たばこ規制に対するたばこ使用者を対象にした調査結果の国際比較. 厚生 の 指標. 2016 ;63(6) ;24-32.
- 4) 厚生労働省. 平成 25 年国民生活基礎調査の概況. 2014.
- 5) 厚生労働省. 平成 28 年国民生活基礎調査の概況. 2018.
- 6) ITC Project. (<http://www.itcproject.org/>, 2019年4月19日アクセス).
- 7) 中村正和他. 医療や健診の場での禁煙推進の制度化とその効果検証に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 第3次対がん総合戦略研究事業 発がんリスクの低減に資する効果的な禁煙推進のための環境整備と支援方策の開発ならびに普及のための制度化に関する研究 平成 22 年度総括・分担報告書. 2011 ;17-29.
- 8) Cardiovascular harms from tobacco use and secondhand smoke: Global gaps in awareness and implications for action. April 2012.
- 9) ITC Cross- Country Comparison Report : Smoke - free Policies. March 2012.
- 10) ITC Cross- Country Comparison Report: Tobacco Price and Taxation. March 2012.
- 11) ITC Cross-Country Comparison Report: Health Warnings on Tobacco Packages. March 2012.
- 12) 東京都. 東京都受動喫煙防止条例 (<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/ken sui/tokyo/file/judokistuenboshijorei.pdf>, 2019年4月19日アクセス)
- 13) World Health Organization: WHO report on

the global tobacco epidemic, 2017 Appendix IX Table9.1.

14) 財務省. たばこ事業法施行規則 (https://www.mof.go.jp/about_mof/act/kokuji_tsuutatsu/kokuji/KO-20031225-0711-14.pdf , 2019年4月19日アクセス).

15) 依田高典他. 日本の禁煙強化政策に対する喫煙者の反応. 厚生指標. 2011 ;58(5) ;7-13.

16) 厚生労働省. 平成 29 年国民健康栄養調査の概要, 2017.

17) Nagelhout GE, Willemsen MC, Thompson ME, et al. Is web interviewing a good alternative to telephone interviewing? Findings from the International Tobacco Control (ITC) Netherlands survey. BMC Public Health. 2010;10:351.

F. 研究発表

1. 論文発表

1) Akiko Hagimoto, Masakazu Nakamura, Shizuko Masui, Yoshiko Bai, Akira Oshima: Effects of Trained Health Professionals' Behavioral Counseling Skills on Smoking Cessation Outcomes. Annals of Behavioral Medicine, 16; 52(9): 752- 761, 2018.

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表 1. 回答者の特性とたばこ使用の実態

(1) 経年変化

2014年→2018年

	2014年	2018年	検定値	
			*1 χ^2 検定	*2 分散検定
男性の割合	74.8	75.5	(p=0.608) *1	
平均年齢	46.7	47.6	p<0.05 *2	
たばこの種類				
紙巻きたばこ	98.1	82.5	p<0.001 *1	
加熱式たばこ	-	36.5	-	
電子たばこ	3.3	11.4	p<0.001 *1	
ニコチンあり	47.7	63.9	p<0.001 *1	
ニコチンなし	72.3	45.8	p<0.001 *1	
ニコチン不明	10.8	21.1	p<0.001 *1	
葉巻	1.9	1.9	(p=0.907) *1	
パイプ	1.8	1.6	(p=0.538) *1	
噛みたばこ	1.0	1.2	(p=0.544) *1	
嗅ぎたばこ	0.6	1.0	(p=0.105) *1	
不明	1.1	1.2	(p=0.881) *1	
平均喫煙本数				
紙巻きたばこ(本)	15.4	13.5	p<0.001 *2	
加熱式たばこ(本またはカプセル)		7.9	-	
電子たばこ(回)		6.5	-	
禁煙への関心				
無関心期	27.6	30.7	(p=0.143) *1	
関心期 I	49.9	46.7		
関心期 II	16.2	16.4		
準備期	6.3	6.3		

2010年→2018年

	2010年	2018年	【参考】2009-10 コホート	検定値	
				*1 χ^2 検定	*2 分散検定
男性の割合	52.2	75.5	53.3	p<0.001 *1	
平均年齢	48.0	47.6	47.1	(p=0.491) *2	
たばこの種類					
紙巻きたばこ	99.5	82.5	-	p<0.001 *1	
加熱式たばこ	-	36.5	-	-	
電子たばこ	2.7	11.4		p<0.001 *1	
ニコチンあり		63.9			
ニコチンなし		45.8			
ニコチン不明		21.1			
葉巻	-	1.9	-	-	
パイプ	-	1.6	-	-	
噛みたばこ	-	1.2	-	-	
嗅ぎたばこ	-	1.0	-	-	
無煙たばこ	0.9	-	-	-	
不明	-	1.2	-	-	
平均喫煙本数					
紙巻きたばこ(本)	17.2	13.5	17.9	p<0.001 *2	
加熱式たばこ(本またはカプセル)		7.9		-	
電子たばこ(回)		6.5		-	
禁煙への関心					
無関心期	22.2	30.7	23.3	p<0.001 *1	
関心期 I	49.1	46.7	59.2		
関心期 II	22.8	16.4	11.0		
準備期	5.3	6.3	6.0		

(2) たばこの種類別の実態 (2018年)

	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)	紙巻き・加熱式 併用 (n=365)	加熱式たばこ 単独 (n=255)	検定値 *1 χ^2 検定 *2 分散検定
男性の割合	73.4	78.4	74.9	(p=0.173) *1
平均年齢	50.7	45.2	43.1	p<0.001 *2
平均喫煙本数	紙巻きたばこ(本) 14.2	11.6		p<0.001 *2
	加熱式たばこ(本またはカプセル)	4.9	12.8	p<0.001 *2
禁煙への関心	無関心期 33.7	26.8	27.5	p<0.01 *1
	関心期 I 43.0	51.2	52.2	
	関心期 II 16.0	18.1	16.5	
	準備期 7.3	3.8	3.9	

(注)紙巻きたばこ、加熱式たばこ以外のたばこ製品の使用者は含まない

表2. たばこの健康影響に関する認識、たばこ規制に対する意識や規制から受けているインパクトの経年変化 (2014年→2018年)

	2014 (n=2000)	2018 (n=2000)	検定値 *1 χ^2 検定 *2 マンホイットニーのU検定
たばこの健康影響に関する認識			
喫煙者本人の脳卒中を引き起こすと回答した割合	48.5	51.2	(p=0.176) *1
非喫煙者の心筋梗塞を引き起こすと回答した割合	42.7	47.9	p<0.01 *1
非喫煙者の肺がんを引き起こすと回答した割合	49.4	52.9	(p=0.084) *1
受動喫煙防止規制の遵守状態と規制への支持			
たばこを吸っている人がいたと回答した割合			
職場(過去1ヵ月)	53.9	54.4	(p=0.962) *1
レストラン・喫茶店(過去6ヵ月)	66.4	58.9	p<0.001 *1
居酒屋・バー(過去6ヵ月)	82.9	79.3	p<0.05 *1
受動喫煙対策として全面禁煙に賛成した割合			
職場	13.8	11.1	p<0.001 *1
レストラン・喫茶店	9.8	12.9	p<0.05 *1
居酒屋・バー	6.4	7.1	(p=0.168) *1
たばこ価格政策による自己の生活費とたばこ代への影響			
たばこ代による生活費の圧迫があると回答した割合	10.7	16.4	p<0.001 *1
たばこに費やすお金を考えたことが頻繁、とても頻繁と回答した割合	13.0	16.7	p<0.001 *2
たばこ代を理由に禁煙することを考えたことがとてもよくあった、ある程度あったと回答した割合	52.4	60.5	p<0.001 *2
【参考】			
男性	51.3	59.8	p<0.001 *2
女性	55.4	62.4	p=0.001 *2
たばこの警告表示による健康の害への意識と禁煙の可能性			
警告表示に頻繁もしくはとても頻繁に気づいたと回答した割合	26.2	23.4	p<0.01 *2
警告表示により健康への害を考えることが大いにいと回答	3.2	5.3	(p=0.088) *2
警告表示により禁煙の可能性が高まるが大いにいと回答した割合	2.5	3.8	p<0.05 *2

(注)たばこを吸っている人がいたと回答した割合は、該当しない(行かなかった、仕事をしていない)を除いた割合

表3. 使用しているたばこの種類別のたばこの健康影響に関する認識、たばこ規制に対する意識や規制から受けているインパクト（2018年）

	紙巻きたばこ 加熱式なし (n=1107)	紙巻き・加熱式 併用 (n=365)	加熱式たばこ 紙巻きなし (n=255)	検定値 *1 χ^2 検定 *2 クラスカル・ ウォリス検定
たばこの健康影響に関する認識				
喫煙者本人の脳卒中を引き起こすと回答した割合	46.2	58.6	55.3	p<0.001 *1
非喫煙者の心筋梗塞を引き起こすと回答した割合	41.4	55.1	54.1	p<0.001 *1
非喫煙者の肺がんを引き起こすと回答した割合	47.6	60.0	57.3	p<0.001 *1
受動喫煙防止規制の遵守状態と規制への支持				
たばこを吸っている人がいたと回答した割合				
職場(過去1ヵ月)	52.0	54.9	57.6	(p=0.054) *1
レストラン・喫茶店(過去6ヵ月)	53.5	67.8	61.9	p<0.001 *1
居酒屋・バー(過去6ヵ月)	77.3	82.9	83.2	(p=0.055) *1
受動喫煙対策として全面禁煙に賛成した割合				
職場	10.6	10.7	12.9	(p=0.068) *1
レストラン・喫茶店	11.7	12.9	14.1	p<0.05 *1
居酒屋・バー	5.9	9.6	5.5	p<0.01 *1
たばこ価格政策による自己の生活費とたばこ代への影響				
たばこ代による生活費の圧迫があると回答した割合	13.6	17.8	17.3	p<0.05 *1
たばこに費やすお金を考えたことが頻繁、とても頻繁と回答した割合	16.9	15.1	18.4	(p=0.186) *2
たばこ代を理由に禁煙することを考えたことがとてもよくあった、ある程度あったと回答した割合	58.3	64.9	60.4	(p=0.567) *2
【参考】				
男性	57.9	64.7	56.5	(p=0.618) *2
女性	59.2	65.8	71.9	(p=0.388) *2
たばこの警告表示による健康の害への意識と禁煙の可能性				
警告表示に頻繁もしくはとても頻繁に気づいたと回答した割合	22.6	25.5	23.5	p<0.05 *2
警告表示により健康への害を考慮することが大いにあると回答	4.6	5.8	2.7	p<0.05 *2
警告表示により禁煙の可能性が高まることが大いにあると回答した割合	3.7	3.0	1.6	p<0.01 *2

(注)たばこを吸っている人がいたと回答した割合は、該当しない(行かなかった、仕事をしていない)を除いた割合

表4. 医師の禁煙アドバイスと禁煙行動の経年変化（2010年→2018年）

回答者の喫煙状況	2010年 (n=816)	2018年 (n=2000)	χ^2 検定値	【参考】2009-10 コホート 喫煙者および禁煙者 (禁煙期間1年未満)
1年間の医療機関の受診	65.2	48.4	p<0.001	57.9
医師から禁煙のアドバイスを受けた割合	27.4	38.1	p<0.05	32.4
禁煙試行	23.0	28.6	p<0.01	28.3
禁煙方法				
禁煙治療	5.3	8.2	p<0.001	7.4
OTC	11.2	6.8		9.2
加熱式たばこ・電子たばこ	0.0	9.8		0.0
その他	81.9	75.2		82.5
【再計】禁煙補助薬の使用	16.5	15.0		16.6

(注)禁煙方法は実人数での割合を算出するため、①禁煙治療、②OTC、③加熱式たばこ・電子たばこ、④その他の順に順位付けを行い、複数の方法を選択した回答者を再分類した。

喫煙者を対象にしたオンライン調査－質問票

この調査は、日本における喫煙者の知識や考え方、たばこを取り巻く環境について、調べるものです。現在たばこを吸われている人が対象となります。禁煙された方は、調査対象ではありませんのでご注意ください。

本調査は、厚生労働省の研究の一環として実施するものです。皆様にご回答いただいたアンケート票は、全体としてデータの分析に使用し、報告書や学会の発表に使用するものです。お答えになった内容は統計以外の目的に利用したり、内容を他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、恐れ入りますがご協力をよろしくお願いいたします。

なお、アンケートに関する問い合わせは、下記までお願いいたします。

大阪がん循環器病予防センター予防推進部 喫煙者調査担当
TEL06-6973-5531 E-mail masui_shizuko@hotmail.co.jp

1. まず、下記の質問にお答えください。

1) あなたはたばこを吸いますか。

- 1 毎日吸っている
- 2 時々吸う日がある
- 3 以前は吸っていたが、1 カ月以上吸っていない
- 4 吸わない

この調査の対象ではありません。
回答せずにここで終了してください。

2) 現在、あなたが吸っているたばこ製品について、当てはまるもの全てを選択してください。(複数回答可)

- 1 紙巻きたばこ
- 2 パイプ
- 3 噛みたばこ
- 4 スヌース等の嗅ぎたばこ
- 5 葉巻
- 6 電子たばこ (ニコチンを含んでいるもの)
- 7 電子たばこ (ニコチンを含んでいないもの)
- 8 電子たばこ (ニコチンを含んでいるかどうかわからない)
- 9 その他

3) あなたの性別をお答えください。

1 男性

2 女性

4) あなたの年齢をお答えください。(数字は半角入力をお願いします。)

[] 歳

5) あなたのお住まいの都道府県を選択してください。

1 北海道	11 埼玉	21 福井	31 岡山	41 佐賀
2 青森	12 千葉	22 岐阜	32 広島	42 長崎
3 岩手	13 東京	23 愛知	33 鳥取	43 熊本
4 秋田	14 神奈川	24 三重	34 島根	44 大分
5 宮城	15 新潟	25 滋賀	35 山口	45 宮崎
6 山形	16 山梨	26 大阪	36 香川	46 鹿児島
7 福島	17 長野	27 京都	37 徳島	47 沖縄
8 茨城	18 静岡	28 奈良	38 愛媛	
9 栃木	19 富山	29 和歌山	39 高知	
10 群馬	20 石川	30 兵庫	40 福岡	

6) ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。(社会福祉施設入所者、単身赴任者、国内外へ遊学中の者、別居中の者など、長期不在者は除きます)。

[] 人(数字は半角入力をお願いします。)

2. 学歴についてお答えください。現在学校に「在学中」の方はその学校について、「卒業」の方は最終卒業学校(中途退学をした方はその前の学校)についてお答えください。予備校等はここでのいう学校には含めません。

1 小学・中学	4 短期・高専
2 高校・旧制中	5 大学
3 専門学校	6 大学院

3. 配偶者の有無についてお答えください。配偶者(夫または妻)は、いますか。配偶者には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含まれます。

1 配偶者あり	3 死別
2 未婚	4 離別

4. あなたの現在の主な仕事について、お答えください。パート・アルバイト等の方も含めてお答えください。

1 管理的職業従事者(管理的公務員、会社・団体等の役員・管理職員等)
2 専門的・技術的職業従事者(研究者、技術者、教員、保健医療従事者、芸術家等)
3 事務従事者(一般事務職、会計事務職等)
4 販売従事者(小売・卸売店主、販売店員、営業職、不動産仲介等)
5 サービス職業従事者(飲食店主・店員、調理人、美容師、介護職員、ビル・マンション管理人等)
6 保安職業従事者(自衛官、警察官、消防員、警備員等)
7 農林漁業従事者(農耕、養畜、育林、漁労作業等)
8 生産工程従事者(製品製造・加工処理、機械組立・修理等)
9 輸送・機械運転従事者(自動車運転、鉄道・船舶・航空機運転等)
10 建設・採掘従事者(大工、とび職、電気工事、土木作業、採掘作業等)
11 運搬・清掃・包装等従事者(郵便・電報外務員、配達員、倉庫作業、清掃員、包装作業等)
12 分類不能の職業(上記以外)
13 仕事をしていない

- 2 少し心配している
- 3 心配している
- 4 とても心配している
- 9 わからない

19.「もし、たばこを吸い始める前に戻れるのであれば、喫煙を始めなかつたらう。」との発言に対してどう思いますか。

- 1 まったくそのとおりだと思う
- 2 そのとおりだと思う
- 3 どちらとも言えない
- 4 そうは思わない
- 5 まったくそうは思わない
- 9 わからない

20.喫煙についてのあなたのご意見をお聞かせください。

- 1 とても肯定的
- 2 肯定的
- 3 肯定的でも否定的でもない
- 4 否定的
- 5 とても否定的
- 9 わからない

21.「国や自治体ももっと喫煙の害への取り組みを行うべきだ。」との意見に対してどう思いますか。

- 1 まったくそのとおりだと思う
- 2 そのとおりだと思う
- 3 どちらとも言えない
- 4 そうは思わない
- 5 まったくそうは思わない
- 9 わからない

22.国や自治体がたばこ会社を提訴して、たばこの使用によって生じた医療費を回収しようとすることに、賛成ですか、反対ですか。

- 1 強く賛成する
- 2 賛成する
- 3 反対する
- 4 強く反対する
- 9 わからない

23.過去6カ月以内に最後に訪れた居酒屋やバーでは、屋内で客が喫煙していましたか。

- 1 はい

2. いいえ
3. 該当しない(6カ月以内に居酒屋やバーには行かなかった)
9. わからない

24.過去6カ月以内で最後に訪れたレストランや喫茶店では、屋内で客が喫煙していましたか。

1. はい
2. いいえ
3. 該当しない(6カ月以内にレストランや喫茶店には行かなかった)
9. わからない

25.過去1カ月以内に、あなたの職場の屋内スペースで喫煙する人がいましたか。

1. はい
2. いいえ
3. 該当しない(1カ月以内に職場には行かなかった、仕事をしていない等)
9. わからない

26.あなたの職場の喫煙対策に最も近いのは、次のどれですか。

1. 屋内はすべて禁煙である
2. 屋内に喫煙室、喫煙コーナーがある
3. 屋内のどこでも喫煙できる
4. 該当しない(仕事をしていない等)
9. わからない

27.あなたの自宅の喫煙状況に最も近いのは、次のどれですか。

1. 自宅ではどこでも喫煙できる
2. 自宅内では喫煙できない
3. 喫煙できる場所とできない場所がある
4. 該当しない(施設に長期入所している等)
9. わからない

28.あなたの車に子どもが乗っている場合の喫煙についてのルールは何ですか。

1. どの車でも決して喫煙できない
2. 一部の車または時々なら喫煙できる
3. どの車でも喫煙できる
4. 車は持っていない
5. 自分の車に子どもが乗ることはない、または子どもがいない
9. わからない

29.職場での喫煙について、どの場所でなら許可されるべきだと思いますか。

1. すべての屋内で喫煙が許可されるべき

- 2 喫煙室や喫煙コーナーでは許可されるべき
- 3 屋内は全面禁煙とすべき
- 9 わからない

30.アルコール類が飲める店(居酒屋やバー等)の屋内スペースでの喫煙について、どの場所でなら許可されるべきだと思いますか。

- 1 店内はすべて喫煙できるべき
- 2 喫煙室や喫煙席では喫煙できるべき
- 3 店内は全面禁煙とすべき
- 9 わからない

31.レストランや喫茶店の屋内スペースでの喫煙について、どの場所でなら許可されるべきだと思いますか。

- 1 店内はすべて喫煙できるべき
- 2 喫煙室や喫煙席では喫煙できるべき
- 3 店内は全面禁煙とすべき
- 9 わからない

32.過去1ヵ月以内に、たばこの包装に書かれている警告表示に気づいたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ほとんどなかった
- 3 時々あった
- 4 頻繁にあった
- 5 とても頻繁にあった
- 6 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
- 9 わからない

33.過去1ヵ月以内に、たばこの包装に書かれている警告表示を読んだりじっくり見たりしたことが、どの程度ありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ほとんどなかった
- 3 時々あった
- 4 頻繁にあった
- 5 とても頻繁にあった
- 6 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
- 9 わからない

34.過去1ヵ月以内に、たばこを吸おうとして警告表示が目に入ったために吸わなかったことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 1度あった
- 3 2、3度あった
- 4 何度もあった
- 5 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
- 9 わからない

35.過去1ヵ月以内に、警告表示を見ないようにしたり、警告表示のことを考えないようにしたりしたことがありましたか。例えば、警告表示を隠す、目に入らないようにする、シガレットケースを使用する等の方法を実践しましたか。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
- 9 わからない

36.警告表示をきっかけとして喫煙の健康への害について考えることが、どの程度ありますか。

- 1 まったくない
- 2 少しある
- 3 ある程度はある
- 4 大いにある
- 5 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
- 9 わからない

37.たばこの包装の警告表示によって自分が禁煙する可能性が高まること、どの程度あると思いますか。

- 1 まったくない
- 2 少しある
- 3 ある程度はある
- 4 大いにある
- 5 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
- 9 わからない

38.たばこの包装に表示する健康に関する情報を、今よりも多くすべきだと思いませんか。今よりも少なくすべきだと思いませんか。今と同じでよいと思いませんか。

- 1 今よりも少なくすべき
- 2 今と同じでよい
- 3 今よりも多くすべき
- 9 わからない

39.過去6ヵ月以内に、たばこに費やすお金が原因で、食料品等生活必需品のための費用が足りなくなったことがありますか。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 9 わからない

40.過去1ヵ月以内に、たばこに費やすお金のことを考えたことが、どの程度ありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ほとんどなかった
- 3 時々あった
- 4 頻繁にあった
- 5 とても頻繁にあった
- 9 わからない

41.過去6ヵ月以内に、たばこの値段(価格)を理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 9 わからない

42.過去6ヵ月以内に、自分のたばこの煙の非喫煙者への影響を懸念して禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 9 わからない

43.過去6ヵ月以内に、職場での喫煙の規制を理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 4 該当しない(仕事をしていない、職場での喫煙規制がない等)
- 9 わからない

44.過去6ヵ月以内に、レストラン、喫茶店、バー、居酒屋の店内が禁煙となることを理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 4 該当しない(6ヵ月以内にレストラン、バー、喫茶店、居酒屋には行かなかった等)
- 9 わからない

45.過去6ヵ月以内に、医師、歯科医、その他の医療専門家からの禁煙のアドバイスを理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 4 該当しない(6ヵ月以内に医療機関には行かなかった、禁煙のアドバイスを受けなかった等)
- 9 わからない

46.過去6ヵ月以内に、たばこの包装に書かれている警告表示を理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 4 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
- 9 わからない

47.過去6ヵ月以内に、親しい友人や家族があなたの喫煙に反対したことを理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 4 該当しない(喫煙への反対がなかった等)
- 9 わからない

喫煙者を対象にしたオンラインアンケートー質問票

このアンケートは、日本における喫煙者の知識や考え方、たばこを取り巻く環境について、調べるものです。現在たばこ（紙巻たばこ、加熱式たばこ、電子たばこを含むたばこ製品のいずれか）を吸われている人が対象となります。禁煙された方は、アンケート対象ではありませんのでご注意ください。

本アンケートは、厚生労働省の研究の一環として実施するものです。皆様にご回答いただいたアンケート票は、全体としてデータの分析に使用し、報告書や学会の発表に使用するものです。お答えになった内容は統計以外の目的に利用したり、内容を他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、恐れ入りますがご協力をよろしくお願いいたします。

このアンケートでは、たばこ（紙巻たばこ、加熱式たばこ、電子たばこ）、喫煙、禁煙はそれぞれ下記のことを意味しています。

たばこ	紙巻たばこ、加熱式たばこ、電子たばこを含む、すべてのたばこ製品のこと。
紙巻たばこ	たばこの葉を燃焼する従来からのたばこ。主な銘柄はセブンスターやメビウスなど。
加熱式たばこ	電気ヒーターなどでたばこのスティックやカプセルを加熱して吸うたばこ製品。わが国で販売されている製品はアイコス、プルームテック、グローの 3 種類。
電子たばこ	香料などが入った液体を電気加熱し、発生した蒸気（エアロゾル）を吸入する製品。ニコチンを含んでいるものと含んでいないものがある。
喫煙	いずれかのたばこ製品を 1 つ以上使用すること。
禁煙	すべてのたばこ製品の使用を中止すること。

1. まず、下記の質問にお答えください。

QS1. あなたは「たばこ（紙巻たばこ、加熱式たばこ、電子たばこなど）」を吸いますか。

- 5 毎日吸っている
- 6 時々吸う日がある
- 7 以前は吸っていたが、1 カ月以上吸っていない
- 8 吸わない

QF1. あなたの性別をお答えください。

3 男性

4 女性

QF2. あなたの年齢をお答えください。

[] 歳

1. 現在、あなたが吸っているたばこ製品について、当てはまるもの全てを選択してください。（複数回答可）

- 10 紙巻たばこ（セブンスター、メビウスなど）
- 11 加熱式たばこ（アイコス、プルームテック、グロー）
- 12 電子たばこ（ニコチンを含んでいるもの）
- 13 電子たばこ（ニコチンを含んでいないもの）
- 14 電子たばこ（ニコチンを含んでいるかどうかわからない）
- 15 パイプ

- 16 噛みたばこ
- 17 スヌース等の嗅ぎたばこ
- 18 葉巻
- 19 その他

2. あなたは通常、1日に平均何本または何回たばこを吸いますか。次のたばこ製品すべてについてお答え下さい。（「時々吸う日がある」と答えた方は、吸う日の1日の平均をお答え下さい）。

紙巻たばこ 1日平均 [] 本くらい
加熱式たばこ 1日平均 [] 本またはカプセルくらい
電子たばこ 1日平均 [] 回くらい

（注）電子たばこについては、吸って吐いてを繰り返す10分程度のひとまとまりの行為を1回とみなしてお答え下さい

3. 朝目が覚めて何分くらいで最初のたばこを吸いますか。

- 1 5分以内
- 2 6～30分以内
- 3 31～60分以内
- 4 61分以降

4. たばこを習慣的に吸うようになったのは、何歳の頃からですか。

[] 歳

5. すべてのたばこ製品をやめることにどれくらい関心がありますか。

- 1 関心がない
- 2 関心があるが、今後6ヵ月以内にやめようとは考えていない
- 3 今後6ヵ月以内にやめようと考えているが、この1ヵ月以内にやめる考えはない
- 4 この1ヵ月以内にやめようと考えている

6. 紙巻たばこをやめることにどれくらい関心がありますか。

- 1 関心がない
- 2 関心があるが、今後6ヵ月以内にやめようとは考えていない
- 3 今後6ヵ月以内にやめようと考えているが、この1ヵ月以内にやめる考えはない
- 4 この1ヵ月以内にやめようと考えている

7. 加熱式たばこをやめることにどれくらい関心がありますか。

- 1 関心がない
- 2 関心があるが、今後6ヵ月以内にやめようとは考えていない
- 3 今後6ヵ月以内にやめようと考えているが、この1ヵ月以内にやめる考えはない
- 4 この1ヵ月以内にやめようと考えている

8. 喫煙が喫煙者本人の脳卒中を引き起こすと思いますか。ご自身の知識や信念に基づいてお答えください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 9 わからない

9. 受動喫煙が非喫煙者の心筋梗塞を引き起こすと思いますか。ご自身の知識や信念に基づいてお答えください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 9 わからない

(注)「受動喫煙」とは、たばこを吸わない人が周囲の人が吸うたばこの煙を吸わされること

10. 受動喫煙が非喫煙者の肺がんを引き起こすと思いますか。ご自身の知識や信念に基づいてお答えください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 9 わからない

(注)「受動喫煙」とは、たばこを吸わない人が周囲の人が吸うたばこの煙を吸わされること

11. 過去6カ月以内に最後に訪れた居酒屋やバーでは、屋内で客が喫煙していましたか。

1. はい
2. いいえ
3. 該当しない(6カ月以内に居酒屋やバーには行かなかった)
9. わからない

12. 過去6カ月以内に最後に訪れたレストランや喫茶店では、屋内で客が喫煙していましたか。

1. はい
2. いいえ
3. 該当しない(6カ月以内にレストランや喫茶店には行かなかった)
9. わからない

13. 過去1カ月以内に、あなたの職場の屋内スペースで喫煙する人がいましたか。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 該当しない(1カ月以内に職場には行かなかった、仕事をしていない等)
- 9 わからない

14. 職場での喫煙について、どの場所でなら許可されるべきだと思いますか。

- 1 すべての屋内で喫煙が許可されるべき
- 2 喫煙室や喫煙コーナーでは許可されるべき
- 3 屋内は全面禁煙とすべき
- 9 わからない

15. 加熱式たばこの使用に限定した場合、職場において、どの場所でなら許可されるべきだと思いますか。

- 1 すべての屋内で加熱式たばこの使用が許可されるべき
- 2 喫煙室や喫煙コーナーでは許可されるべき
- 3 屋内は加熱式たばこの使用を全面的に禁止するべき
- 9 わからない

16. アルコール類が飲める店(居酒屋やバー等)の屋内スペースでの喫煙について、どの場所でなら許可されるべきだと思いますか。
- 1 店内はすべて喫煙できるべき
 - 2 喫煙室や喫煙席では喫煙できるべき
 - 3 店内は全面禁煙とすべき
 - 9 わからない
17. 加熱式たばこの使用に限定した場合、アルコール類が飲める店(居酒屋やバー等)の屋内スペースにおいて、どの場所でなら許可されるべきだと思いますか。
- 1 店内はすべて使用できるべき
 - 2 喫煙室や喫煙席では使用できるべき
 - 3 店内は全面的に禁止するべき
 - 9 わからない
18. レストランや喫茶店の屋内スペースでの喫煙について、どの場所でなら許可されるべきだと思いますか。
- 1 店内はすべて喫煙できるべき
 - 2 喫煙室や喫煙席では喫煙できるべき
 - 3 店内は全面禁煙とすべき
 - 9 わからない
19. 加熱式たばこの使用に限定した場合、レストランや喫茶店の屋内スペースにおいて、どの場所でなら許可されるべきだと思いますか。
- 1 店内はすべて使用できるべき
 - 2 喫煙室や喫煙席では使用できるべき
 - 3 店内は全面的に禁止するべき
 - 9 わからない
20. 過去1ヵ月以内に、たばこの包装に書かれている警告表示に気づいたことがありましたか。
- 1 まったくなかった
 - 2 ほとんどなかった
 - 3 時々あった
 - 4 頻繁にあった
 - 5 とても頻繁にあった
 - 6 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
 - 9 わからない
21. 過去1ヵ月以内に、たばこの包装に書かれている警告表示を読んだりじっくり見たりしたことが、どの程度ありましたか。
- 1 まったくなかった
 - 2 ほとんどなかった
 - 3 時々あった
 - 4 頻繁にあった
 - 5 とても頻繁にあった
 - 6 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
 - 9 わからない

22. 過去1ヵ月以内に、たばこを吸おうとして警告表示が目に入ったために吸わなかったことがありましたか。
- 1 まったくなかった
 - 2 1度あった
 - 3 2、3度あった
 - 4 何度もあった
 - 5 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
 - 9 わからない
23. 過去1ヵ月以内に、警告表示を見ないようにしたり、警告表示のことを考えないようにしたりしたことがありましたか。例えば、警告表示を隠す、目に入らないようにする、シガレットケースを使用する等の方法を実践しましたか。
- 1 はい
 - 2 いいえ
 - 3 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
 - 9 わからない
24. 警告表示をきっかけとして喫煙の健康への害について考えることが、どの程度ありますか。
- 1 まったくない
 - 2 少しある
 - 3 ある程度はある
 - 4 大いにある
 - 5 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
 - 9 わからない
25. たばこの包装の警告表示によって自分が禁煙する可能性が高まるのが、どの程度あると思いますか。
- 1 まったくない
 - 2 少しある
 - 3 ある程度はある
 - 4 大いにある
 - 5 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
 - 9 わからない
26. たばこの包装に表示する健康に関する情報を、今よりも多くすべきだと思いますか。今よりも少なくすべきだと思いますか。今と同じでよいと思いますか。
- 1 今よりも少なくすべき
 - 2 今と同じでよい
 - 3 今よりも多くすべき
 - 9 わからない
27. 過去6ヵ月以内に、たばこに費やすお金が原因で、食料品等生活必需品のための費用が足りなくなったことがありましたか。
- 1 はい
 - 2 いいえ
 - 9 わからない

28. 過去1ヵ月以内に、たばこに費やすお金のことを考えたことが、どの程度ありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ほとんどなかった
- 3 時々あった
- 4 頻繁にあった
- 5 とても頻繁にあった
- 9 わからない

29. 過去6ヵ月以内に、たばこの値段(価格)を理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 9 わからない

ここからは、禁煙について伺います。これらの質問での禁煙とは、「すべてのたばこ製品の使用を中止すること」です。

30. 過去6ヵ月以内に、自分のたばこの煙の非喫煙者への影響を懸念して禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 9 わからない

31. 過去6ヵ月以内に、職場での喫煙の規制を理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 4 該当しない(仕事をしていない、職場での喫煙規制がない等)
- 9 わからない

32. 過去6ヵ月以内に、レストラン、喫茶店、バー、居酒屋の店内が禁煙となることを理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 4 該当しない(6ヵ月以内にレストラン、バー、喫茶店、居酒屋には行かなかった等)
- 9 わからない

33. 過去6ヵ月以内に、医師、歯科医、その他の医療専門家からの禁煙のアドバイスを理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 4 該当しない(6ヵ月以内に医療機関には行かなかった、禁煙のアドバイスを受けなかった等)
- 9 わからない

34. 過去6ヵ月以内に、たばこの包装に書かれている警告表示を理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 4 該当しない(警告表示のない電子たばこを吸っている等)
- 9 わからない

35. 過去6ヵ月以内に、親しい友人や家族があなたの喫煙に反対したことを理由として禁煙することを考えたことがありましたか。

- 1 まったくなかった
- 2 ある程度あった
- 3 とてもよくあった
- 4 該当しない(喫煙への反対がなかった等)
- 9 わからない

36. 過去1年間に、禁煙することを目的に1日以上続く禁煙をしましたか。

- 1 はい
- 2 いいえ

37. 過去1年間の1日以上続く禁煙のうち、最も長く禁煙された時はどの程度続けましたか。

- 2 1日～1週間未満
- 3 1週間～1ヶ月未満
- 4 1ヶ月～3ヶ月未満
- 5 3ヶ月～6ヶ月未満
- 6 6ヶ月以上
- 7 覚えていない

38. 過去1年間の1日以上続く禁煙のうち、最も長く禁煙された時はどのような方法でしましたか。当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 何も使わなかった(自分の力で禁煙した)
- 2 本を読んだり、インターネットで調べた情報を参考に自分で禁煙した
- 3 「禁煙マラソン」などのインターネットやメールによる禁煙プログラムを利用した
- 4 「禁煙コンテスト」などの通信制の禁煙プログラムを利用した
- 5 加熱式たばこ(アイコス、プルームテック、グロー)を使った
- 6 電子たばこを使った
- 7 ニコチンガムを薬局・薬店で購入して使った
- 8 医療機関を介さず薬局・薬店で購入したニコチンパッチ(貼り薬)を使った
- 9 医師の処方によるニコチンパッチ(貼り薬)を使った
- 10 医師の処方によるチャンピックス(禁煙の飲み薬)を使った
- 11 禁煙外来で健康保険による禁煙治療を受けた
- 12 禁煙外来で自費による禁煙治療を受けた
- 13 スマホやパソコンを使ったオンライン受診による禁煙治療や指導を受けた
- 14 その他()

39. 過去1年間に、医療関係者から禁煙のアドバイスを受けましたか。当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 受けていない
- 2 医師から受けた
- 3 看護師・保健師から受けた
- 4 薬剤師から受けた
- 5 上記以外の医療従事者から受けた
- 9 その他()

40. 過去1年間に、病気にかかって医療機関を受診しましたか。現在受診している病気を含めて、当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 呼吸器系疾患（かぜ、気管支炎、COPD（肺気腫等の慢性閉塞性肺疾患）など）
- 2 高血圧
- 3 高脂血症
- 4 糖尿病
- 5 狭心症、その他の心臓疾患
- 6 胃・十二指腸潰瘍
- 7 肝炎、肝硬変
- 8 うつ、統合失調症、ストレス症候群等の精神障害
- 9 更年期疾患、その他の婦人科疾患
- 10 ムシ歯、歯周炎などの歯科疾患
- 11 その他の疾患（)
- 12 過去1年間に受診した病気はない

41. 過去1年間に、病気にかかって医療機関を受診した際に、医師から禁煙をすすめられましたか。

- 1 すすめられた
- 2 すすめられなかった

42. 過去1年間に、病気にかかって受診した医療機関で医師に禁煙をすすめられた際、どのような指導を受けましたか。当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 禁煙するように言われた
- 2 喫煙の危険性について説明を受けた
- 3 禁煙の方法について説明を受けた
- 4 ニコチンパッチ（貼り薬）を処方された
- 5 チャンピックス（禁煙の飲み薬）を処方された
- 6 薬局・薬店でニコチンガムの購入をすすめられた
- 7 薬局・薬店でニコチンパッチ（貼り薬）の購入をすすめられた
- 8 パンフレットなどの禁煙教材をもらった
- 9 禁煙外来で健康保険による禁煙治療を受けた
- 10 禁煙外来で自費による禁煙治療を受けた
- 11 スマホやパソコンを使ったオンライン受診による禁煙治療を受けた
- 12 禁煙治療が受けられる医療機関を紹介された
- 13 その他（)

43. 過去1年間に、勤務先や市町村、医療機関等で健康診断やがん健診、人間ドックを受けましたか。

- 1 受けた
- 2 受けていない

②. 加熱式たばこは、紙巻たばこに比べて有害成分を 90%カットしているのに、病気になる危険性も 90%減らすことができる。

- 1 全くその通りである
- 2 その通りである
- 3 どちらともいえない
- 4 そうは思わない
- 5 全くそうは思わない

③. 加熱式たばこには、タールが含まれていないので、がんにはならない。

- 1 全くその通りである
- 2 その通りである
- 3 どちらともいえない
- 4 そうは思わない
- 5 全くそうは思わない

④. 加熱式たばこを使用している人は、自分の健康や周囲の健康に配慮できる進歩的な喫煙者である。

- 1 全くその通りである
- 2 その通りである
- 3 どちらともいえない
- 4 そうは思わない
- 5 全くそうは思わない

⑤. 加熱式たばこは害が少ないのでやめる必要はない。

- 1 全くその通りである
- 2 その通りである
- 3 どちらともいえない
- 4 そうは思わない
- 5 全くそうは思わない

50. あなたのお住まいの都道府県を選択してください。

48 北海道	58 埼玉	68 福井	78 岡山	88 佐賀
49 青森	59 千葉	69 岐阜	79 広島	89 長崎
50 岩手	60 東京	70 愛知	80 鳥取	90 熊本
51 秋田	61 神奈川	71 三重	81 島根	91 大分
52 宮城	62 新潟	72 滋賀	82 山口	92 宮崎
53 山形	63 山梨	73 大阪	83 香川	93 鹿児島
54 福島	64 長野	74 京都	84 徳島	94 沖縄
55 茨城	65 静岡	75 奈良	85 愛媛	
56 栃木	66 富山	76 和歌山	86 高知	
57 群馬	67 石川	77 兵庫	87 福岡	

51. 学歴についてお答えください。現在学校に「在学中」の方はその学校について、「卒業」の方は最終卒業学校(中途退学をした方はその前の学校)についてお答えください。予備校等はここでの学校には含めません。

7 小学・中学	10 短期・高専
8 高校・旧制中	11 大学
9 専門学校	12 大学院

52. あなたの現在の主な仕事について、お答えください。パート・アルバイト等の方も含めてお答えください。

14 管理的職業従事者（管理的公務員、会社・団体等の役員・管理職員等）
15 専門的・技術的職業従事者（研究者、技術者、教員、保健医療従事者、芸術家等）
16 事務従事者（一般事務職、会計事務職等）
17 販売従事者（小売・卸売店主、販売店員、営業職、不動産仲介等）
18 サービス職業従事者（飲食店主・店員、調理人、美容師、介護職員、ビル・マンション管理人等）
19 保安職業従事者（自衛官、警察官、消防員、警備員等）
20 農林漁業従事者（農耕、養畜、育林、漁労作業等）
21 生産工程従事者（製品製造・加工処理、機械組立・修理等）
22 輸送・機械運転従事者（自動車運転、鉄道・船舶・航空機運転等）
23 建設・採掘従事者（大工、とび職、電気工事、土木作業、採掘作業等）
24 運搬・清掃・包装等従事者（郵便・電報外務員、配達員、倉庫作業、清掃員、包装作業等）
25 分類不能の職業（上記以外）
26 仕事をしていない

53. あなたの医療保険の加入状況について、保険証又は組合員証で確認して一つだけ当てはまるものをお答えください。

9 国民健康保険（市町村）	13 被用者保険（共済組合）
10 国民健康保険（組合）	14 被用者保険（船員保険、その他）
11 被用者保険（全国健康保険協会）	15 後期高齢者医療制度
12 被用者保険（健康保険組合）	16 その他（生活保護や無保険等）

※世帯収入は調査会社保有データを使用

あなたの世帯の過去1年間の年間収入はだいたいどれくらいになりますか。近い番号を1つ選んでください。

9 200万円未満	13 800万～1,000万円未満
10 200万～400万円未満	14 1,000～1,500万円未満
11 400万～600万円未満	15 1,500万円以上
12 600万～800万円未満	16 わからない／答えたくない

資料3. 基礎表

1. 調査別集計

基礎表1. 属性－調査別 (1/2)

	喫煙者モニタリング調査 (2005～2010年)				たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定	
	2009-10年 コホート (n=767)		2010年 (n=816)		2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		2010vs 2018	2014vs 2018
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
性別										
男性	409	53.3	426	52.2	1496	74.8	1510	75.5	p<0.001	p=0.608
女性	358	46.7	390	47.8	504	25.2	490	24.5		
年齢										
20代	55	7.2	44	5.4	280	14.0	242	12.1	p<0.001	p=0.070 (p<0.025)
30代	196	25.6	202	24.8	430	21.5	384	19.2		
40代	224	29.2	255	31.3	446	22.3	491	24.6		
50代	145	18.9	149	18.3	360	18.0	366	18.3		
60代以上	147	19.2	166	20.3	484	24.2	517	25.9		
平均±SD (範囲)	47.1±13.8 (25-82)		48.0±13.7 (24-85)		46.7±13.6 (20-74)		47.6±13.6 (20-74)		p=0.491	p=0.027 *
住所										
北海道					142	7.1	111	5.6	p=0.181	
東北					128	6.4	121	6.1		
関東					824	41.2	805	40.3		
中部					266	13.3	255	12.8		
近畿					357	17.9	377	18.9		
中国					79	4.0	90	4.5		
四国					56	2.8	56	2.8		
九州					148	7.4	185	9.3		
配偶										
あり					1188	59.4	1159	58.0	p=0.352	
なし					812	40.6	841	42.1		
婚姻										
未婚					617	30.9			p=0.352	
既婚					1383	69.2				
配偶あり					1188	85.9				
離婚・死別					195	14.1				
世帯人数										
1名					376	18.8			p=0.352	
2名					564	28.2				
3名					506	25.3				
4名					368	18.4				
5名					132	6.6				
6名以上					54	2.7				
同居の子供の人数										
0名							1268	63.4	p=0.055 (p=0.021)	
1名							359	18.0		
2名							304	15.2		
3名							57	2.9		
4名以上							12	0.6		
学歴										
小学・中学					74	3.7	70	3.5	p=0.055 (p=0.021)	
高校・旧制中					660	33.0	609	30.5		
専門学校					235	11.8	247	12.4		
短大・高専					158	7.9	125	6.3		
大学					807	40.4	863	43.2		
大学院					66	3.3	86	4.3		

()はマンホイットニーのU検定、*は分散分析を使用

基礎表1. 属性－調査別 (2/2)

	喫煙者モニタリング調査 (2005～2010年)				たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定	
	2009-10年 コホート (n=767)		2010年 (n=816)		2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		2010vs 2018	2014vs 2018
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
職業										
管理職					187	9.4	225	11.3		
専門・技術					266	13.3	257	12.9		
事務					319	16.0	257	12.9		
販売					143	7.2	110	5.5		
サービス					176	8.8	188	9.4		
保安					25	1.3	20	1.0		p=0.001
農林漁業					20	1.0	17	0.9		
生産工程					86	4.3	103	5.2		
輸送・機械運転					44	2.2	46	2.3		
建設・採掘					54	2.7	59	3.0		
運搬・清掃・放送					45	2.3	81	4.1		
その他					162	8.1	195	9.8		
無職					473	23.7	442	22.1		
世帯収入										
200万未満					170	8.5	246	12.3		
200-400万未満					461	23.1	511	25.6		
400-600万未満					457	22.9	483	24.2		
600-800万未満					295	14.8	332	16.6		p<0.001
800-1000万未満					176	8.8	215	10.8		(p=0.402)
1000-1500万未満					130	6.5	154	7.7		
1500万以上					54	2.7	56	2.8		
不明					257	12.9	3	0.2		
医療保険										
国民健康保険_市町村					747	37.4	731	36.6		
国民健康保険_組合					134	6.7	162	8.1		
被用者保険_全国健康保険協会					378	18.9	396	19.8		
被用者保険_健康保険組合					535	26.8	500	25.0		p=0.413
被用者保険_共済組合					135	6.8	122	6.1		
被用者保険_船員その他					6	0.3	7	0.4		
後期高齢者医療制度					5	0.3	7	0.4		
その他_無保険・生活保護					60	3.0	75	3.8		
健康状態										
よい					444	22.2				
まあよい					589	29.5				
ふつう					662	33.1				
あまりよくない					248	12.4				
よくない					57	2.9				

()はマンフォイトニーのU検定を使用

基礎表2. 喫煙状況－調査別 (1/3)

	喫煙者モニタリング調査 (2005～2010年)				たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定	
	2009-10年 コホート (n=767)		2010年 (n=816)		2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		2010vs 2018	2014vs 2018
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
喫煙状況										
毎日	733	95.6	774	94.9			1794	89.7	p<0.001	
時々	34	4.4	42	5.1			206	10.3		
喫煙本数										
紙巻きたばこ	平均±SD (範囲)	17.9±9.3 (1-80)	17.2±8.9 (1-60)		15.4±8.7 (1-80)		13.5±8.8 (1-77)		p<0.001	p<0.001 *
加熱式たばこ	平均±SD (範囲)						7.9±7.4 (1-40)			
電子たばこ	平均±SD (範囲)						6.5±7.3 (1-48)			
喫煙開始年齢	平均±SD (範囲)				21.5±6.6 (12-73)		21.5±4.4 (20-67)		p=0.844	*

*は分散分析を使用

(注)喫煙本数:加熱式たばこ(本またはカプセル)、電子たばこ(回)

基礎表2. 喫煙状況－調査別 (2/3)

	喫煙者モニタリング調査 (2005～2010年)				たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定	
	2009-10年 コホート (n=767)		2010年 (n=816)		2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		2010vs 2018	2014vs 2018
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
たばこの種類										
紙巻きたばこ			812	99.5	1961	98.1	1650	82.5	p<0.001	p<0.001
パイプ					36	1.8	31	1.6		p=0.538
噛みたばこ					20	1.0	24	1.2		p=0.544
嗅ぎたばこ					11	0.6	20	1.0		p=0.105
葉巻					37	1.9	38	1.9		p=0.907
加熱式たばこ							729	36.5		
電子タバコ		22	2.7	65	3.3	227	11.4		p<0.001	p<0.001
電子タバコ(ニコチンあり)				31	47.7	145	63.9			p<0.001
電子タバコ(ニコチンなし)				47	72.3	104	45.8			p<0.001
電子タバコ(ニコチン不明)				7	10.8	48	21.1			p<0.001
無煙たばこ		7	0.9							
不明					22	1.1	23	1.2		p=0.881
【再掲】その他との併用なし										
紙巻き			783	96.0	1871	93.6	1107	55.4		
加熱式							255	12.8		
電子タバコ(ニコチンあり)					2	0.1	38	1.9		
紙巻き+加熱式							365	18.3		
紙巻き+電子タバコ					14	0.7	34	1.7		
加熱式+電子タバコ							4	0.2		
紙巻き+加熱式+電子タバコ							18	0.9		
その他			33	4.0	113	5.7	179	9.0		
【再掲】その他との併用あり										
紙巻き			812	99.5	1933	96.7	1153	57.7		
加熱式							263	13.2		
電子タバコ(ニコチンあり)					3	0.2	45	2.3		
紙巻き+加熱式							402	20.1		
紙巻き+電子タバコ					28	1.4	36	1.8		
加熱式+電子タバコ							5	0.3		
紙巻き+加熱式+電子タバコ							59	3.0		
その他			0	0.0	36	1.8	37	1.9		
一箱の値段										
紙巻きたばこ(20本) 平均±SD (範囲)							431.0±146.3 (100-4,800)			
禁煙への関心										
たばこ全般										
無関心期	179	23.3	181	22.2	552	27.6	614	30.7		
関心期 I	454	59.2	401	49.1	998	49.9	934	46.7	p<0.001	p=0.143
関心期 II	84	11.0	186	22.8	324	16.2	327	16.4		
準備期	46	6.0	43	5.3	126	6.3	125	6.3		
紙巻きたばこ(併用)										
無関心期			181	22.3	537	27.4	503	30.5		
関心期 I			400	49.3	986	50.3	729	44.2	p<0.001	p=0.001
関心期 II			185	22.8	321	16.4	284	17.2		
準備期			43	5.3	117	6.0	134	8.1		
紙巻きたばこ(併用なし)										
無関心期			178	22.8	509	27.2	373	33.7		
関心期 I			385	49.4	952	50.9	476	43.0	p<0.001	p<0.001
関心期 II			176	22.6	301	16.1	177	16.0		
準備期			41	5.3	109	5.8	81	7.3		
加熱式たばこ(併用)										
無関心期							238	32.6		
関心期 I							342	46.9		
関心期 II							124	17.0		
準備期							25	3.4		
加熱式たばこ(併用なし)										
無関心期							70	27.5		
関心期 I							133	52.2		
関心期 II							42	16.5		
準備期							10	3.9		

基礎表2. 喫煙状況—調査別 (3/3)

	喫煙者モニタリング調査 (2005～2010年)				たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定	
	2009-10年 コホート (n=767)		2010年 (n=816)		2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		2010vs 2018	2014vs 2018
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
起床後たばこを吸うまでの時間										
5分以内			252	30.9	525	26.3	580	29.0	p=0.006 (p=0.983)	p=0.018 (p=0.984)
30分以内			328	40.2	878	43.9	905	45.3		
60分以内			126	15.4	280	14.0	227	11.4		
61分以上			108	13.2	317	15.9	288	14.4		
喫煙可能な場所										
職場										
屋内禁煙					626	31.3				
屋内に喫煙室					673	33.7				
屋内どこでも吸える					185	9.3				
該当しない					444	22.2				
分からない					72	3.6				
自宅										
どこでも喫煙できる					640	32.0				
自宅内禁煙					443	22.2				
場所が決まっている					852	42.6				
該当しない					18	0.9				
わからない					47	2.4				
子どもが同乗する自家用車										
どの車でも禁煙					705	35.3				
車によって違う					281	14.1				
どの車でも吸える					194	9.7				
車は持っていない					278	13.9				
子どもは乗らない					487	24.4				
わからない					55	2.8				

()はマンフォイトニーのU検定

基礎表3. 紙巻きたばこの健康影響の認識—調査別

	たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定
	2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		
	人数	%	人数	%	
喫煙者本人への影響					
脳卒中	969	48.5	1024	51.2	p=0.176
インポテンツ	312	15.6			
受動喫煙					
心筋梗塞	854	42.7	957	47.9	p=0.005
肺がん	988	49.4	1057	52.9	p=0.084

基礎表4. 加熱式たばこの認識－調査別

	たばこ使用者調査 (2014年、2018年)	
	2018年(n=2000)	
	人数	%
紙巻たばこに比べて有害物質を90%カット		
全くその通りである	72	3.6
その通りである	606	30.3
どちらともいえない	981	49.1
そうは思わない	246	12.3
全くそうは思わない	95	4.8
紙巻たばこに比べて、病気になる危険性も90%減らすことができる		
全くその通りである	42	2.1
その通りである	306	15.3
どちらともいえない	946	47.3
そうは思わない	498	24.9
全くそうは思わない	208	10.4
タールが含まれていないのでがんにならない		
全くその通りである	37	1.9
その通りである	210	10.5
どちらともいえない	950	47.5
そうは思わない	557	27.9
全くそうは思わない	246	12.3
使用者は自分の健康や周囲の健康に配慮できる進歩的な喫煙者		
全くその通りである	53	2.7
その通りである	422	21.1
どちらともいえない	980	49.0
そうは思わない	368	18.4
全くそうは思わない	177	8.9
害が少ないのでやめる必要はない		
全くその通りである	42	2.1
その通りである	236	11.8
どちらともいえない	1009	50.5
そうは思わない	502	25.1
全くそうは思わない	211	10.6

基礎表5. 喫煙規制に対する認識や考え－調査別 (1/2)

	たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定
	2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		
	人数	%	人数	%	
公的にもっと喫煙の害に取り組むべきか					
全くその通りだと思う	106	5.3			
その通りだと思う	269	13.5			
どちらとも言えない	867	43.4			
そうは思わない	413	20.7			
全くそう思わない	228	11.4			
分からない	117	5.9			
公的にたばこ会社より医療費を回収すべきか					
強く賛成	82	4.1			
賛成	252	12.6			
反対	653	32.7			
強く反対	425	21.3			
分からない	588	29.4			

基礎表5. 喫煙規制に対する認識や考え—調査別 (2/2)

	たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定
	2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		
	人数	%	人数	%	
許可できる喫煙場所					
たばこ全般					
職場					
屋内で喫煙できるべき	107	5.4	177	8.9	
喫煙室では喫煙できるべき	1471	73.6	1491	74.6	p<0.001
屋内は禁煙とすべき	276	13.8	221	11.1	
わからない	146	7.3	111	5.6	
居酒屋・バー					
屋内で喫煙できるべき	436	21.8	486	24.3	
喫煙室では喫煙できるべき	1306	65.3	1242	62.1	p=0.168
屋内は禁煙とすべき	127	6.4	141	7.1	
わからない	131	6.6	131	6.6	
レストラン・喫茶店					
屋内で喫煙できるべき	187	9.4	203	10.2	
喫煙室では喫煙できるべき	1505	75.3	1434	71.7	p=0.010
屋内は禁煙とすべき	195	9.8	258	12.9	
わからない	113	5.7	105	5.3	
加熱式たばこ					
職場					
屋内で喫煙できるべき			302	15.1	
喫煙室では喫煙できるべき			1272	63.6	
屋内は禁煙とすべき			155	7.8	
わからない			271	13.6	
居酒屋・バー					
屋内で喫煙できるべき			572	28.6	
喫煙室では喫煙できるべき			1080	54.0	
屋内は禁煙とすべき			145	7.3	
わからない			203	10.2	
レストラン・喫茶店					
屋内で喫煙できるべき			347	17.4	
喫煙室では喫煙できるべき			1259	63.0	
屋内は禁煙とすべき			206	10.3	
わからない			188	9.4	

基礎表6. たばこに対する認識や考え—調査別 (1/2)

	たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定
	2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		
	人数	%	人数	%	
喫煙による影響への心配					
将来の健康					
全く心配していない	287	14.4			
少し心配している	1037	51.9			
心配している	359	18.0			
とても心配している	148	7.4			
わからない	169	8.5			
将来の生活の質					
全く心配していない	464	23.2			
少し心配している	809	40.5			
心配している	312	15.6			
とても心配している	127	6.4			
わからない	288	14.4			

基礎表6. たばこに対する認識や考え－調査別 (2/2)

	たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定
	2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		
	人数	%	人数	%	
過去に戻れたらたばこをはじめなかったか					
全くその通りだと思う	294	14.7			
その通りだと思う	446	22.3			
どちらとも言えない	635	31.8			
そうは思わない	295	14.8			
全くそう思わない	181	9.1			
分からない	149	7.5			
たばこについての意見					
とても肯定的	125	6.3			
肯定的	363	18.2			
肯定でも否定でもない	1184	59.2			
否定的	163	8.2			
とても否定的	35	1.8			
わからない	130	6.5			
たばこ代に関する認識					
生活費の圧迫(6か月以内)					
はい	213	10.7	328	16.4	p<0.001
いいえ	1616	80.8	1506	75.3	
わからない	171	8.6	166	8.3	
たばこに費やす金額について考えたか(1か月以内)					
まったくなかった	421	21.1	361	18.1	p<0.001 (p<0.001)
ほとんどなかった	482	24.1	435	21.8	
時々あった	749	37.5	806	40.3	
頻繁にあった	169	8.5	206	10.3	
とても頻繁にあった	90	4.5	127	6.4	
分からない	89	4.5	65	3.3	
ニコチン依存症と思うか					
思う			1200	60.0	
思わない			800	40.0	

()はマンフォイトニーのU検定を使用

基礎表7. 喫煙者との遭遇－調査別

	たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定
	2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		
	人数	%	人数	%	
外食系の店(過去6か月)					
居酒屋やバー	1240	82.9	1217	79.3	p=0.036
レストランや喫茶店	1154	66.4	1017	58.9	p<0.001
職場(過去1か月)	839	53.9	875	54.4	p=0.962

(注)該当しないを除いて割合、解析を行った。

基礎表8. 警告表示に対する認識や考え(1か月以内)－調査別

	たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定
	2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		
	人数	%	人数	%	
気付いたか					
まったくなかった	281	14.1	319	16.0	p=0.012 (p=0.003)
ほとんどなかった	372	18.6	435	21.8	
時々あった	681	34.1	634	31.7	
頻繁にあった	309	15.5	251	12.6	
とても頻繁にあった	215	10.8	217	10.9	
該当しない	16	0.8	23	1.2	
わからない	126	6.3	121	6.1	
じっくりと見たか					
まったくなかった	458	22.9	551	27.6	p=0.004 (p=0.001)
ほとんどなかった	587	29.4	575	28.8	
時々あった	644	32.2	572	28.6	
頻繁にあった	122	6.1	101	5.1	
とても頻繁にあった	73	3.7	75	3.8	
該当しない	18	0.9	32	1.6	
わからない	98	4.9	94	4.7	
見て吸わないことがあったか					
全くなかった	1641	82.1	1550	77.5	p=0.001 (p<0.001)
1度あった	66	3.3	93	4.7	
2-3度あった	91	4.6	133	6.7	
何度もあった	61	3.1	73	3.7	
該当しない	37	1.9	57	2.9	
わからない	104	5.2	94	4.7	
表示を避けたか					
はい	116	5.8	202	10.1	p<0.001
いいえ	1668	83.4	1572	78.6	
該当しない	30	1.5	74	3.7	
分からない	186	9.3	152	7.6	
見て健康の害を考えたか					
全くない	694	34.7	643	32.2	p<0.001 (p=0.088)
少しある	707	35.4	736	36.8	
ある程度はある	377	18.9	349	17.5	
大いにある	64	3.2	106	5.3	
該当しない	13	0.7	32	1.6	
分からない	145	7.3	134	6.7	
見て禁煙の可能性が高まったか					
全くない	892	44.6	812	40.6	p<0.001 (p=0.034)
少しある	554	27.7	628	31.4	
ある程度はある	306	15.3	279	14.0	
大いにある	49	2.5	76	3.8	
該当しない	12	0.6	34	1.7	
分からない	187	9.4	171	8.6	
健康情報記載量に対する考え					
少なくすべき	230	11.5	251	12.6	p=0.326 (p=0.698)
同じでよい	1180	59.0	1189	59.5	
多くすべき	247	12.4	256	12.8	
分からない	343	17.2	304	15.2	

()はマンフォイトニーのU検定を使用

基礎表9. 禁煙への認識(6か月以内)－調査別

	たばこ使用者調査 (2014年、2018年)				χ ² 検定
	2014年 (n=2000)		2018年 (n=2000)		
	人数	%	人数	%	
たばこ代					
まったくなかった	842	42.1	712	35.6	p<0.001 (p<0.001)
ある程度あった	873	43.7	938	46.9	
とてもよくあった	174	8.7	271	13.6	
分からない	111	5.6	79	4.0	
男性					
まったくなかった	643	43.0	554	36.7	p<0.001 (p<0.001)
ある程度あった	638	42.6	708	46.9	
とてもよくあった	130	8.7	195	12.9	
分からない	85	5.7	53	3.5	
女性					
まったくなかった	199	39.5	158	32.2	p=0.004 (p=0.001)
ある程度あった	235	46.6	230	46.9	
とてもよくあった	44	8.7	76	15.5	
分からない	26	5.2	26	5.3	
受動喫煙の害					
まったくなかった	927	46.4	982	49.1	p=0.002 (p=0.580)
ある程度あった	800	40.0	773	38.7	
とてもよくあった	126	6.3	149	7.5	
分からない	147	7.4	96	4.8	
職場の喫煙規制					
まったくなかった	985	49.3	948	47.4	p<0.001 (p<0.001)
ある程度あった	377	18.9	443	22.2	
とてもよくあった	79	4.0	141	7.1	
該当しない	427	21.4	363	18.2	
分からない	132	6.6	105	5.3	
飲食店での禁煙対策					
まったくなかった	1239	62.0	1140	57.0	p<0.001 (p<0.001)
ある程度あった	393	19.7	482	24.1	
とてもよくあった	71	3.6	118	5.9	
該当しない	156	7.8	165	8.3	
分からない	141	7.1	95	4.8	
医療者からのアドバイス					
まったくなかった	1091	54.6	1107	55.4	p<0.001 (p=0.016)
ある程度あった	350	17.5	387	19.4	
とてもよくあった	74	3.7	120	6.0	
該当しない	379	19.0	302	15.1	
分からない	106	5.3	84	4.2	
包装の警告表示					
まったくなかった	1383	69.2	1306	65.3	p<0.001 (p=0.002)
ある程度あった	405	20.3	446	22.3	
とてもよくあった	51	2.6	89	4.5	
該当しない	31	1.6	55	2.8	
分からない	130	6.5	104	5.2	
身近な人の反対					
まったくなかった	1136	56.8	1099	55.0	p=0.026 (p=0.017)
ある程度あった	503	25.2	537	26.9	
とてもよくあった	90	4.5	128	6.4	
該当しない	161	8.1	135	6.8	
分からない	110	5.5	101	5.1	

()はマンフォイトニーのU検定を使用

基礎表10. 禁煙試行－調査別

	喫煙者モニタリング調査 (2005～2010年)				たばこ使用者調査 (2014年、2018年)		χ ² 検定
	2009-10年 コホート (n=767)		2010年 (n=816)		2018年 (n=2000)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
禁煙試行							
あり	217	28.3	188	23.0	572	28.6	p=0.003
なし	550	71.7	628	77.0	1428	71.4	
禁煙期間							
1週間未満			78	41.5	197	34.4	p=0.005 (p=0.810)
1か月未満			32	17.0	176	30.8	
3か月未満			37	19.7	89	15.6	
6か月未満			14	7.4	31	5.4	
6か月以上			24	12.8	57	10.0	
覚えていない			2	1.1	22	3.8	
禁煙方法							
なにもなし	163	75.1	143	76.1	375	65.6	p=0.007
本・インターネット	9	4.1	7	3.7	91	15.9	p<0.001
インターネット・通信プログラム	1	0.5	1	0.5	65	11.4	p<0.001
禁煙マラソンなど	1	0.5	1	0.5	45	7.9	p<0.001
禁煙コンテストなど	0	0.0	0	0.0	29	5.1	p<0.001
他のたばこ製品							
加熱式たばこ					59	10.3	
電子タバコ					45	7.9	
OTC							
ニコチンガム	17	7.8	17	9.0	46	8.0	p=0.666
ニコチンパッチ	11	5.1	14	7.4	16	2.8	p=0.005
処方薬							
ニコチンパッチ	6	2.8	5	2.7	16	2.8	p=0.920
チャンピックス	8	3.7	3	1.6	23	4.0	p=0.112
禁煙治療							
保険適用	7	3.2	3	1.6	12	2.1	p=0.668
自費	2	0.9	2	1.1	7	1.2	p=0.860
オンライン					6	1.0	
その他	10	4.6	8	4.3	7	1.2	p=0.010
禁煙方法(重複なし)							
その他	179	82.5	154	81.9	430	75.2	p<0.001
加熱式+電子タバコ	0	0.0	0	0.0	56	9.8	
OTC	20	9.2	21	11.2	39	6.8	
処方もしくは禁煙治療	16	7.4	10	5.3	47	8.2	

()はマンフォイトニーのU検定を使用

基礎表 11. 医療機関受診および検診・健診受診とアドバイスー調査別

	喫煙者モニタリング調査 (2005～2010年)				たばこ使用者調査 (2014年、2018年)		χ ² 検定
	2009-10年 コホート (n=767)		2010年 (n=816)		2018年 (n=2000)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
医療者からのアドバイス							
受けた	131	17.1	132	16.2	285	14.3	p=0.192
受けていない	626	81.6	684	83.8	1715	85.8	
禁煙アドバイスのアドバイス者							
医師	98	74.8	96	72.7	201	70.5	p=0.644
看護師・保健師	22	16.8	25	18.9	71	24.9	p=0.178
薬剤師	2	1.5	3	2.3	25	8.8	p=0.014
その他の医療従事者	5	3.8	6	4.5	30	10.5	p=0.430
その他	6	4.6	5	3.8	1	0.4	p=0.013
医療機関受診の有無							
あり	444	57.9	532	65.2	967	48.4	p<0.001
なし	313	40.8	284	34.8	1033	51.7	
受診理由							
呼吸器疾患	159	35.8	170	32.0	207	21.4	p<0.001
高血圧	88	19.8	97	18.2	283	29.3	p<0.001
高脂血症	32	7.2	30	5.6	129	13.3	p<0.001
糖尿病	31	7.0	35	6.6	136	14.1	p<0.001
心臓疾患	16	3.6	15	2.8	46	4.8	p=0.069
胃・十二指腸の疾患	25	5.6	26	4.9	54	5.6	p=0.566
肝臓疾患	6	1.4	7	1.3	20	2.1	p=0.295
精神疾患	20	4.5	25	4.7	151	15.6	p<0.001
婦人科疾患	17	3.8	19	3.6	29	3.0	p=0.547
歯科疾患	189	42.6	206	38.7	306	31.6	p=0.006
その他	83	18.7	85	16.0	99	10.2	p=0.001
受診時の医師からの禁煙推奨							
あり	144	32.4	146	27.4	368	38.1	p=0.011
なし	292	65.8	322	60.5	599	61.9	
指導内容							
禁煙の勧め	114	79.2	115	78.8	251	68.2	p=0.017
喫煙の危険性の説明	42	29.2	43	29.5	115	31.3	p=0.690
禁煙方法の説明	10	6.9	11	7.5	49	13.3	p=0.066
禁煙教材の配布	6	4.2	6	4.1	30	8.2	p=0.105
禁煙薬							
ニコチンパッチの処方	1	0.7	1	0.7	21	5.7	p=0.011
チャンピックスの処方	0	0.0	0	0.0	19	5.2	p=0.005
ニコチンガム購入の勧め	2	1.4	1	0.7	21	5.7	p=0.011
ニコチンパッチ購入の勧め	1	0.7	3	2.1	16	4.3	p=0.214
禁煙治療受診							
保険	0	0.0	0	0.0	7	1.9	p=0.200
自費	0	0.0	0	0.0	9	2.4	p=0.093
オンライン					9	2.4	p=0.057
医療機関の紹介	1	0.7	1	0.7	7	1.9	p=0.315
その他	3	2.1	2	1.4	9	2.4	p=0.447
健診・検診の受診							
あり	488	63.6	519	63.6	1198	59.9	p=0.020
なし	259	33.8	284	34.8	802	40.1	
受診時の禁煙推奨							
あり	155	31.8	173	33.3	473	39.5	p=0.028
なし	324	66.4	338	65.1	725	60.5	
指導内容							
禁煙の勧め	126	81.3	141	81.5	330	69.8	p=0.003
喫煙の危険性の説明	60	38.7	66	38.2	182	38.5	p=0.940
禁煙方法の説明	17	11.0	19	11.0	56	11.8	p=0.763
禁煙教材の配布	14	9.0	15	8.7	25	5.3	p=0.114
禁煙薬							
ニコチンパッチの処方	3	1.9	3	1.7	28	5.9	p=0.028
チャンピックスの処方	1	0.6	1	0.6	16	3.4	p=0.049
ニコチンガム購入の勧め	1	0.6	0	0.0	23	4.9	p=0.003
ニコチンパッチ購入の勧め	2	1.3	3	1.7	15	3.2	p=0.326
禁煙治療受診							
保険	1	0.6	1	0.6	13	2.7	p=0.093
自費	0	0.0	0	0.0	6	1.3	p=0.137
オンライン					8	1.7	
医療機関の紹介	1	0.6	1	0.6	10	2.1	p=0.181
その他	5	3.2	5	2.9	7	1.5	p=0.240

基礎表12. 禁煙治療の知識と希望－調査別

	たばこ使用者調査 (2014年、2018年)	
	2018年(n=2000)	
	人数	%
禁煙治療の知識と受診		
保険適応と知らなかった	551	27.6
保険適応と知っていた	1449	72.5
受診したことがある	150	10.4
受診したことはない	1299	89.6
禁煙治療の希望		
受診したい	381	19.1
受診したくない	749	37.5
どちらでもない	870	43.5

2. たばこの種類別集計

基礎表13. 属性－たばこの種類別 (1/2)

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
性別							
男性	813	73.4	286	78.4	191	74.9	p=0.173
女性	294	26.6	79	21.6	64	25.1	
年齢							
20代	83	7.5	51	14.0	37	14.5	p<0.001 (p<0.001)
30代	161	14.5	87	23.8	73	28.6	
40代	266	24.0	91	24.9	76	29.8	
50代	236	21.3	67	18.4	35	13.7	
60代以上	361	32.6	69	18.9	34	13.3	
平均±SD (範囲)	50.7±13.2 (20-74)		45.2±13.0 (20-72)		43.1±11.8 (20-73)		p<0.001 *
住所							
北海道	68	6.1	19	5.2	11	4.3	
東北	71	6.4	18	4.9	17	6.7	
関東	444	40.1	151	41.4	96	37.6	
中部	134	12.1	54	14.8	30	11.8	
近畿	212	19.2	67	18.4	50	19.6	
中国	48	4.3	14	3.8	17	6.7	
四国	29	2.6	10	2.7	7	2.7	
九州	101	9.1	32	8.8	27	10.6	
配偶							
あり	641	57.9	209	57.3	162	63.5	p=0.218
なし	466	42.1	156	42.7	93	36.5	
同居の子供の人数							
0名	728	65.8	227	62.2	134	52.5	p=0.004 (p=0.001)
1名	190	17.2	68	18.6	62	24.3	
2名	152	13.7	61	16.7	48	18.8	
3名	27	2.4	8	2.2	11	4.3	
4名以上	10	0.9	1	0.3	0	0.0	
学歴							
小学・中学	42	3.8	13	3.6	9	3.5	p=0.174 (p=0.018)
高校・旧制中	366	33.1	95	26.0	84	32.9	
専門学校	129	11.7	44	12.1	43	16.9	
短大・高専	66	6.0	23	6.3	14	5.5	
大学	460	41.6	173	47.4	98	38.4	
大学院	44	4.0	17	4.7	7	2.7	

()はクラスカル・ウォリス検定を使用、*は分散分析を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表 13. 属性—たばこの種類別 (2/2)

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
職業							
管理職	112	10.1	45	12.3	35	13.7	p<0.001
専門・技術	123	11.1	63	17.3	29	11.4	
事務	109	9.8	65	17.8	41	16.1	
販売	56	5.1	22	6.0	15	5.9	
サービス	106	9.6	27	7.4	21	8.2	
保安	13	1.2	4	1.1	2	0.8	
農林漁業	10	0.9	4	1.1	1	0.4	
生産工程	59	5.3	22	6.0	13	5.1	
輸送・機械運転	19	1.7	9	2.5	13	5.1	
建設・採掘	31	2.8	15	4.1	8	3.1	
運搬・清掃・放送	46	4.2	8	2.2	15	5.9	
その他	120	10.8	26	7.1	26	10.2	
無職	303	27.4	55	15.1	36	14.1	
世帯収入							
200万未満	155	14.0	33	9.0	28	11.0	p<0.001 (p<0.001)
200-400万未満	324	29.3	80	21.9	49	19.2	
400-600万未満	269	24.3	84	23.0	68	26.7	
600-800万未満	163	14.7	73	20.0	49	19.2	
800-1000万未満	106	9.6	43	11.8	36	14.1	
1000-1500万未満	67	6.1	37	10.1	22	8.6	
1500万以上	23	2.1	14	3.8	3	1.2	
不明	0	0.0	1	0.3	0	0.0	
医療保険							
国民健康保険_市町村	471	42.5	114	31.2	62	24.3	p<0.001
国民健康保険_組合	70	6.3	34	9.3	27	10.6	
被用者保険_全国健康保険協会	194	17.5	76	20.8	68	26.7	
被用者保険_健康保険組合	269	24.3	106	29.0	72	28.2	
被用者保険_共済組合	52	4.7	25	6.8	20	7.8	
被用者保険_船員その他	4	0.4	1	0.3	1	0.4	
後期高齢者医療制度	4	0.4	0	0.0	0	0.0	
その他_無保険・生活保護	43	3.9	9	2.5	5	2.0	

()はクラスカル・ウォリス検定を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表 14. 喫煙状況—たばこの種類別 (1/2)

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
喫煙状況							
毎日	1004	90.7	342	93.7	227	89.0	p=0.099
時々	103	9.3	23	6.3	28	11.0	
喫煙本数							
紙巻きたばこ	平均±SD (範囲)	14.2±8.8 (1-77)	平均±SD (範囲)	11.6±8.1 (1-50)			p<0.001 *
加熱式たばこ	平均±SD (範囲)		平均±SD (範囲)	4.9±4.9 (1-30)	12.8±8.0 (1-40)		p<0.001 *
喫煙開始年齢	平均±SD (範囲)	21.5±4.6 (20-63)	平均±SD (範囲)	21.2±3.4 (20-50)	21.0±3.1 (20-40)		p<0.144 *

*は分散分析を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

(注) 喫煙本数: 加熱式たばこ(本またはカプセル)

基礎表 14. 喫煙状況—たばこの種類別 (2/2)

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
禁煙への関心							
たばこ全般							
無関心期	373	33.7	98	26.8	70	27.5	p=0.002
関心期 I	476	43.0	187	51.2	133	52.2	
関心期 II	177	16.0	66	18.1	42	16.5	
準備期	81	7.3	14	3.8	10	3.9	
紙巻きたばこ							
無関心期	372	33.6	90	24.7			p=0.004
関心期 I	461	41.6	180	49.3			
関心期 II	184	16.6	72	19.7			
準備期	90	8.1	23	6.3			
加熱式たばこ							
無関心期			133	52.2	77	30.2	p=0.432
関心期 I			163	63.9	128	50.2	
関心期 II			58	22.7	42	16.5	
準備期			11	4.3	8	3.1	
起床後たばこを吸うまでの時間							
5分以内	347	31.3	107	29.3	63	24.7	p=0.003 (p=0.538)
30分以内	473	42.7	165	45.2	128	50.2	
60分以内	107	9.7	55	15.1	27	10.6	
61分以上	180	16.3	38	10.4	37	14.5	

()はクラスカル・ウォリス検定を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表 15. 紙巻きたばこの健康影響の認識—たばこの種類別

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
喫煙者本人への影響							
脳卒中	511	46.2	214	58.6	141	55.3	p<0.001
受動喫煙							
心筋梗塞	458	41.4	201	55.1	138	54.1	p<0.001
肺がん	527	47.6	219	60.0	146	57.3	p<0.001

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表 16. 加熱式たばこの認識—たばこの種類別 (1/2)

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
紙巻たばこに比べて有害物質を90%カット							
全くその通りである	12	1.1	24	6.6	20	7.8	p<0.001 (p<0.001)
その通りである	211	19.1	164	44.9	109	42.7	
どちらともいえない	632	57.1	146	40.0	98	38.4	
そうは思わない	178	16.1	27	7.4	24	9.4	
全くそうは思わない	74	6.7	4	1.1	4	1.6	
紙巻たばこに比べて、病気になる危険性も90%減らすことができる							
全くその通りである	9	0.8	12	3.3	6	2.4	p<0.001 (p<0.001)
その通りである	99	8.9	86	23.6	46	18.0	
どちらともいえない	575	51.9	157	43.0	114	44.7	
そうは思わない	286	25.8	85	23.3	69	27.1	
全くそうは思わない	138	12.5	25	6.8	20	7.8	

()はクラスカル・ウォリス検定を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表 16. 加熱式たばこの認識－たばこの種類別 (2/2)

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
タールが含まれていないのでがんにならない							
全くその通りである	6	0.5	9	2.5	7	2.7	
その通りである	68	6.1	58	15.9	28	11.0	p<0.001
どちらともいえない	559	50.5	164	44.9	122	47.8	(p<0.001)
そうは思わない	317	28.6	92	25.2	80	31.4	
全くそうは思わない	157	14.2	42	11.5	18	7.1	
使用者は自分の健康や周囲の健康に配慮できる進歩的な喫煙者							
全くその通りである	10	0.9	12	3.3	13	5.1	
その通りである	150	13.6	118	32.3	75	29.4	p<0.001
どちらともいえない	583	52.7	164	44.9	114	44.7	(p<0.001)
そうは思わない	236	21.3	51	14.0	44	17.3	
全くそうは思わない	128	11.6	20	5.5	9	3.5	
害が少ないのでやめる必要はない							
全くその通りである	12	1.1	13	3.6	4	1.6	
その通りである	68	6.1	61	16.7	41	16.1	p<0.001
どちらともいえない	622	56.2	161	44.1	119	46.7	(p=0.002)
そうは思わない	276	24.9	96	26.3	70	27.5	
全くそうは思わない	129	11.7	34	9.3	21	8.2	

()はクラスカル・ウォリス検定を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表 17. 喫煙規制に対する認識や考え－たばこの種類別

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
許可できる喫煙場所							
たばこ全般							
職場							
屋内で喫煙できるべき	95	8.6	35	9.6	14	5.5	
喫煙室では喫煙できるべき	821	74.2	280	76.7	196	76.9	p=0.068
屋内は禁煙とすべき	117	10.6	39	10.7	33	12.9	
わからない	74	6.7	11	3.0	12	4.7	
居酒屋・バー							
屋内で喫煙できるべき	261	23.6	84	23.0	72	28.2	
喫煙室では喫煙できるべき	689	62.2	235	64.4	156	61.2	p=0.002
屋内は禁煙とすべき	65	5.9	35	9.6	14	5.5	
わからない	92	8.3	11	3.0	13	5.1	
レストラン・喫茶店							
屋内で喫煙できるべき	108	9.8	39	10.7	22	8.6	
喫煙室では喫煙できるべき	793	71.6	270	74.0	189	74.1	p=0.023
屋内は禁煙とすべき	130	11.7	47	12.9	36	14.1	
わからない	76	6.9	9	2.5	8	3.1	
加熱式たばこ							
職場							
屋内で喫煙できるべき	109	9.8	66	18.1	60	23.5	
喫煙室では喫煙できるべき	684	61.8	260	71.2	164	64.3	p<0.001
屋内は禁煙とすべき	86	7.8	28	7.7	17	6.7	
わからない	228	20.6	11	3.0	14	5.5	
居酒屋・バー							
屋内で喫煙できるべき	284	25.7	114	31.2	94	36.9	
喫煙室では喫煙できるべき	588	53.1	209	57.3	136	53.3	p<0.001
屋内は禁煙とすべき	76	6.9	32	8.8	13	5.1	
わからない	159	14.4	10	2.7	12	4.7	
レストラン・喫茶店							
屋内で喫煙できるべき	152	13.7	68	18.6	62	24.3	
喫煙室では喫煙できるべき	687	62.1	248	67.9	163	63.9	p<0.001
屋内は禁煙とすべき	117	10.6	40	11.0	21	8.2	
わからない	151	13.6	9	2.5	9	3.5	

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表18. たばこに対する認識や考え—たばこの種類別

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
たばこ代に関する認識							
生活費の圧迫(6か月以内)							
はい	151	13.6	65	17.8	44	17.3	p=0.033
いいえ	850	76.8	281	77.0	189	74.1	
わからない	106	9.6	19	5.2	22	8.6	
たばこに費やす金額について考えたか(1か月以内)							
まったくなかった	211	19.1	61	16.7	45	17.6	p=0.001 (p=0.186)
ほとんどなかった	215	19.4	109	29.9	47	18.4	
時々あった	450	40.7	137	37.5	104	40.8	
頻繁にあった	110	9.9	38	10.4	26	10.2	
とても頻繁にあった	77	7.0	17	4.7	21	8.2	
分からない	44	4.0	3	0.8	12	4.7	
ニコチン依存症と思うか							
思う	651	58.8	241	66.0	158	62.0	p=0.046
思わない	456	41.2	124	34.0	97	38.0	

()はクラスカル・ウォリス検定を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表19. 喫煙者との遭遇—たばこの種類別

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
外食系の店(過去6か月)							
居酒屋やバー	598	77.3	267	82.9	173	83.2	p=0.055
レストランや喫茶店	492	53.5	225	67.8	140	61.9	p<0.001
職場(過去1か月)	433	52.0	173	54.9	129	57.6	p=0.054

(注) 該当しないを除いて割合、解析を行った

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表20. 警告表示に対する認識や考え(1か月以内)—たばこの種類別 (1/2)

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
気付いたか							
まったくなかった	211	19.1	40	11.0	33	12.9	p<0.001 (p=0.034)
ほとんどなかった	231	20.9	95	26.0	47	18.4	
時々あった	334	30.2	123	33.7	91	35.7	
頻繁にあった	132	11.9	52	14.2	38	14.9	
とても頻繁にあった	118	10.7	41	11.2	22	8.6	
該当しない	5	0.5	2	0.5	6	2.4	
わからない	76	6.9	12	3.3	18	7.1	
じっくりと見たか							
まったくなかった	355	32.1	73	20.0	65	25.5	p<0.001 (p<0.001)
ほとんどなかった	312	28.2	128	35.1	73	28.6	
時々あった	292	26.4	118	32.3	72	28.2	
頻繁にあった	48	4.3	21	5.8	13	5.1	
とても頻繁にあった	35	3.2	13	3.6	5	2.0	
該当しない	7	0.6	2	0.5	11	4.3	
わからない	58	5.2	10	2.7	16	6.3	

()はクラスカル・ウォリス検定を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表20. 警告表示に対する認識や考え(1か月以内)－たばこの種類別 (2/2)

たばこ使用者調査(2018年)							χ ² 検定
紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)			
人数	%	人数	%	人数	%		
見て吸わないことがあったか							p<0.001 (p<0.001)
全くなかった	912	82.4	283	77.5	195	76.5	
1度あった	31	2.8	22	6.0	12	4.7	
2-3度あった	47	4.2	37	10.1	12	4.7	
何度もあった	30	2.7	13	3.6	3	1.2	
該当しない	25	2.3	4	1.1	16	6.3	
表示を避けたか							p<0.001
はい	75	6.8	42	11.5	22	8.6	
いいえ	902	81.5	301	82.5	189	74.1	
該当しない	31	2.8	9	2.5	20	7.8	
見て健康の害を考えたか							p<0.001 (p=0.016)
全くない	397	35.9	100	27.4	75	29.4	
少しある	378	34.1	166	45.5	97	38.0	
ある程度はある	181	16.4	65	17.8	47	18.4	
大いにある	51	4.6	21	5.8	7	2.7	
該当しない	11	1.0	2	0.5	8	3.1	
見て禁煙の可能性が高まったか							p<0.001 (p=0.006)
全くない	495	44.7	135	37.0	95	37.3	
少しある	316	28.5	145	39.7	82	32.2	
ある程度はある	130	11.7	56	15.3	39	15.3	
大いにある	41	3.7	11	3.0	4	1.6	
該当しない	9	0.8	1	0.3	11	4.3	
健康情報記載量に対する考え							p<0.001 (p=0.020)
少なくすべき	137	12.4	39	10.7	36	14.1	
同じでよい	642	58.0	237	64.9	158	62.0	
多くすべき	120	10.8	60	16.4	24	9.4	
分からない	208	18.8	29	7.9	37	14.5	

()はクラスカル・ウォリス検定を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表21. 禁煙への認識(6か月以内)－たばこの種類別 (1/2)

たばこ使用者調査(2018年)							χ ² 検定
紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)			
人数	%	人数	%	人数	%		
たばこ代							p=0.081 (p=0.567)
まったくなかった	409	36.9	122	33.4	90	35.3	
ある程度あった	496	44.8	191	52.3	119	46.7	
とてもよくあった	149	13.5	46	12.6	35	13.7	
分からない							p=0.108 (p=0.618)
53	4.8	6	1.6	11	4.3		
男性							
まったくなかった	306	37.6	97	33.9	74	38.7	
ある程度あった	366	45.0	152	53.1	83	43.5	
とてもよくあった	105	12.9	33	11.5	25	13.1	
分からない							p=0.505 (p=0.388)
36	4.4	4	1.4	9	4.7		
女性							
まったくなかった	103	35.0	25	31.6	16	25.0	
ある程度あった	130	44.2	39	49.4	36	56.3	
とてもよくあった	44	15.0	13	16.5	10	15.6	
分からない							17 5.8 2 2.5 2 3.1

()はクラスカル・ウォリス検定を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表21. 禁煙への認識(6か月以内)－たばこの種類別(2/2)

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
受動喫煙の害							
まったくなかった	563	50.9	166	45.5	133	52.2	p=0.013 (p=0.027)
ある程度あった	413	37.3	162	44.4	93	36.5	
とてもよくあった	68	6.1	30	8.2	15	5.9	
分からない	63	5.7	7	1.9	14	5.5	
職場の喫煙規制							
まったくなかった	527	47.6	174	47.7	141	55.3	p<0.001 (p=0.002)
ある程度あった	218	19.7	100	27.4	44	17.3	
とてもよくあった	57	5.1	32	8.8	14	5.5	
該当しない	238	21.5	51	14.0	41	16.1	
分からない	67	6.1	8	2.2	15	5.9	
飲食店での禁煙対策							
まったくなかった	642	58.0	211	57.8	159	62.4	p<0.001 (p=0.018)
ある程度あった	241	21.8	102	27.9	57	22.4	
とてもよくあった	42	3.8	27	7.4	10	3.9	
該当しない	112	10.1	20	5.5	18	7.1	
分からない	70	6.3	5	1.4	11	4.3	
医療者からのアドバイス							
まったくなかった	628	56.7	195	53.4	158	62.0	p<0.001 (p<0.001)
ある程度あった	171	15.4	98	26.8	38	14.9	
とてもよくあった	49	4.4	28	7.7	14	5.5	
該当しない	201	18.2	40	11.0	32	12.5	
分からない	58	5.2	4	1.1	13	5.1	
包装の警告表示							
まったくなかった	757	68.4	231	63.3	180	70.6	p<0.001 (p=0.001)
ある程度あった	214	19.3	102	27.9	40	15.7	
とてもよくあった	37	3.3	19	5.2	10	3.9	
該当しない	29	2.6	5	1.4	10	3.9	
分からない	70	6.3	8	2.2	15	5.9	
身近な人の反対							
まったくなかった	645	58.3	183	50.1	151	59.2	p=0.001 (p<0.001)
ある程度あった	263	23.8	122	33.4	62	24.3	
とてもよくあった	53	4.8	26	7.1	12	4.7	
該当しない	77	7.0	27	7.4	15	5.9	
分からない	69	6.2	7	1.9	15	5.9	

()はクラスカル・ウォリス検定を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表22. 禁煙試行ーたばこの種類別

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
禁煙試行							
あり	273	24.7	118	32.3	63	24.7	p=0.013
なし	834	75.3	247	67.7	192	75.3	
禁煙期間							
1週間未満	113	41.4	38	32.2	18	28.6	p=0.198 (p=0.332)
1か月未満	68	24.9	43	36.4	24	38.1	
3か月未満	35	12.8	15	12.7	11	17.5	
6か月未満	16	5.9	7	5.9	1	1.6	
6か月以上	28	10.3	10	8.5	8	12.7	
覚えていない	13	4.8	5	4.2	1	1.6	
禁煙方法							
なにもなし	222	81.3	61	51.7	43	68.3	p<0.001
本・インターネット	17	6.2	26	22.0	5	7.9	p<0.001
インターネット・通信プログラム	12	4.4	15	12.7	5	7.9	p=0.012
禁煙マラソンなど	9	3.3	14	11.9	4	6.3	p=0.004
禁煙コンテストなど	4	1.5	3	2.5	1	1.6	p=0.754
他のたばこ製品							
加熱式たばこ	7	2.6	23	19.5	6	9.5	p<0.001
電子タバコ	9	3.3	4	3.4	2	3.2	p=0.997
OTC							
ニコチンガム	11	4.0	16	13.6	4	6.3	p=0.003
ニコチンパッチ	3	1.1	3	2.5	0	0.0	p=0.317
処方薬							
ニコチンパッチ	0	0.0	5	4.2	1	1.6	p=0.003
チャンピックス	6	2.2	5	4.2	2	3.2	p=0.533
禁煙治療							
保険適用	4	1.5	1	0.8	1	1.6	p=0.869
自費	0	0.0	1	0.8	1	1.6	p=0.170
オンライン	1	0.4	1	0.8	0	0.0	p=0.684
その他	3	1.1	2	1.7	0	0.0	p=0.582
禁煙方法(重複なし)							
その他	242	88.6	75	63.6	47	74.6	p<0.001
加熱式+電子タバコ	9	3.3	17	14.4	8	12.7	
OTC	12	4.4	14	11.9	4	6.3	
処方もしくは禁煙治療	10	3.7	12	10.2	4	6.3	

()はクラスカル・ウォリス検定を使用

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表23. 医療機関受診および検診・健診受診とアドバイスーたばこの種類別(1/2)

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
医療者からのアドバイス							
受けた	994	89.8	309	84.7	221	86.7	p=0.021
受けていない	113	10.2	56	15.3	34	13.3	
禁煙アドバイスのアドバイス者							
医師	82	8.2	46	14.9	25	11.3	p=0.009
看護師・保健師	24	2.4	9	2.9	3	1.4	p=0.515
薬剤師	9	0.9	2	0.6	2	0.9	p=0.877
その他の医療従事者	11	1.1	3	1.0	4	1.8	p=0.643
その他	1	0.1	0	0.0	0	0.0	p=0.756

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表23. 医療機関受診および検診・健診受診とアドバイスーたばこの種類別 (2/2)

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
医療機関受診の有無							
あり	509	46.0	187	51.2	114	44.7	p=0.164
なし	598	54.0	178	48.8	141	55.3	
受診理由							
呼吸器疾患	109	21.4	46	24.6	2	1.8	p=0.308
高血圧	154	30.3	54	28.9	25	21.9	p=0.160
高脂血症	69	13.6	18	9.6	14	12.3	p=0.633
糖尿病	72	14.1	29	15.5	14	12.3	p=0.455
心臓疾患	26	5.1	6	3.2	1	0.9	p=0.110
胃・十二指腸の疾患	23	4.5	10	5.3	6	5.3	p=0.757
肝臓疾患	6	1.2	3	1.6	3	2.6	p=0.518
精神疾患	70	13.8	28	15.0	23	20.2	p=0.269
婦人科疾患	14	2.8	4	2.1	3	2.6	p=0.966
歯科疾患	148	29.1	62	33.2	42	36.8	p=0.155
その他	63	12.4	16	8.6	6	5.3	p=0.073
受診時の医師からの禁煙推奨							
あり	167	32.8	78	41.7	36	31.6	p=0.069
なし	342	67.2	109	58.3	78	68.4	
指導内容							
禁煙の勧め	120	71.9	56	71.8	29	80.6	p=0.546
喫煙の危険性の説明	47	28.1	28	35.9	7	19.4	p=0.179
禁煙方法の説明	11	6.6	13	16.7	1	2.8	p=0.014
禁煙教材の配布	11	6.6	7	9.0	1	2.8	p=0.468
禁煙薬							
ニコチンパッチの処方	4	2.4	5	6.4	1	2.8	p=0.277
チャンピックスの処方	2	1.2	4	5.1	0	0.0	p=0.089
ニコチンガム購入の勧め	4	2.4	8	10.3	1	2.8	p=0.021
ニコチンパッチ購入の勧め	1	0.6	4	5.1	0	0.0	p=0.030
禁煙治療受診							
保険	1	0.6	1	1.3	0	0.0	p=0.724
自費	0	0.0	4	5.1	0	0.0	p=0.005
オンライン	1	0.6	0	0.0	0	0.0	p=0.710
医療機関の紹介	2	1.2	0	0.0	2	5.6	p=0.062
その他	5	3.0	1	1.3	2	5.6	p=0.436
健診・検診の受診							
あり	624	56.4	243	66.6	153	60.0	p=0.003
なし	483	43.6	122	33.4	102	40.0	
受診時の禁煙推奨							
あり	225	36.1	100	41.2	55	35.9	p=0.355
なし	399	63.9	143	58.8	98	64.1	
指導内容							
禁煙の勧め	158	70.2	79	79.0	41	74.5	p=0.249
喫煙の危険性の説明	81	36.0	39	39.0	16	29.1	p=0.466
禁煙方法の説明	16	7.1	14	14.0	6	10.9	p=0.136
禁煙教材の配布	9	4.0	6	6.0	1	1.8	p=0.450
禁煙薬							
ニコチンパッチの処方	2	0.9	8	8.0	1	1.8	p=0.002
チャンピックスの処方	2	0.9	2	2.0	0	0.0	p=0.471
ニコチンガム購入の勧め	2	0.9	11	11.0	1	1.8	p<0.001
ニコチンパッチ購入の勧め	1	0.4	5	5.0	0	0.0	p=0.006
禁煙治療受診							
保険	2	0.9	2	2.0	0	0.0	p=0.471
自費	1	0.4	1	1.0	0	0.0	p=0.688
オンライン	0	0.0	1	1.0	0	0.0	p=0.246
医療機関の紹介	3	1.3	3	3.0	2	3.6	p=0.435
その他	3	1.3	1	1.0	2	3.6	p=0.406

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した

基礎表24. 禁煙治療の知識と希望—たばこの種類別

	たばこ使用者調査(2018年)						χ ² 検定
	紙巻きたばこ 単独 (n=1107)		紙巻き・加熱式のみ 併用 (n=365)		加熱式たばこ 単独 (n=255)		
	人数	%	人数	%	人数	%	
禁煙治療の知識と受診							
保険適応と知らなかった	294	26.6	115	31.5	63	24.7	p=0.110
保険適応と知っていた	813	73.4	250	68.5	192	75.3	
受診したことがある	51	6.3	31	12.4	22	11.5	
受診したことはない	762	93.7	219	87.6	170	88.5	
禁煙治療の希望							
受診したい	160	14.5	95	26.0	51	20.0	p<0.001
受診したくない	466	42.1	101	27.7	92	36.1	
どちらでもない	481	43.5	169	46.3	112	43.9	

(注) 紙巻きたばこまたは加熱式たばこ以外のたばこ製品の併用がある場合は対象から除外して解析した